

OPEN CAMPUS

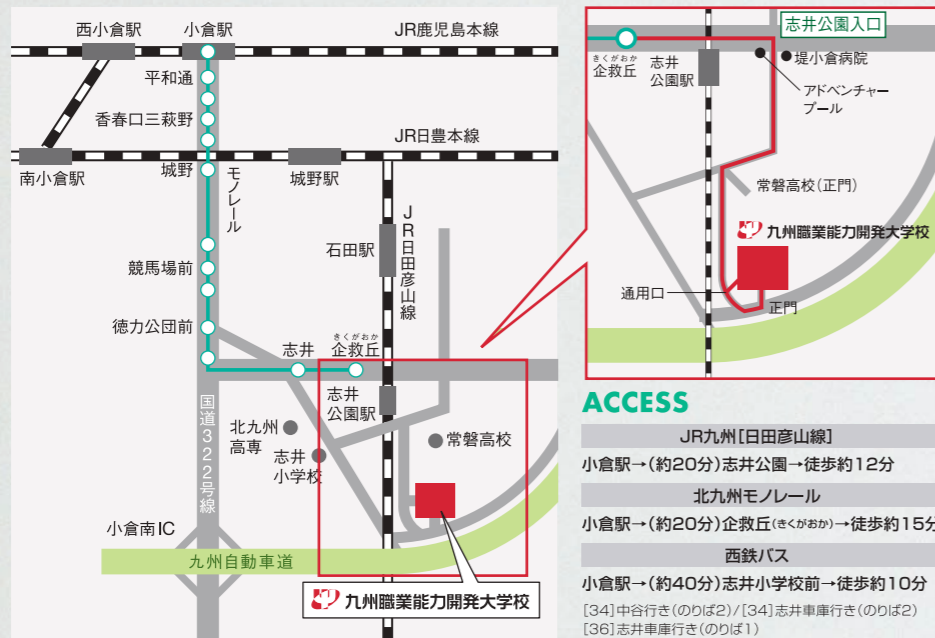
キャンパス
見学会開催



学びの概要や入試情報の説明、
体験授業・校内見学を実施します。
九州ポリテクカレッジを見て＆
聞いて＆体験しよう！



ものづくり
TECHで未来を開く。



OPEN

OPEN THE WAY
TO THE FUTURE
WITH TECHNOLOGY.

ものづくり TECHで未来を開く。

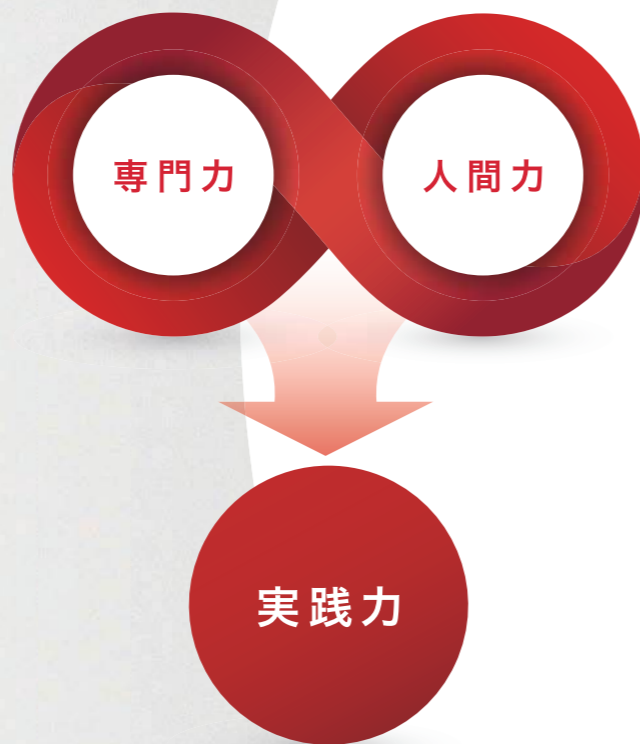
たゆみなく進歩する“ものづくり”の未来を
自身の技術力で切り開く。

九州職業能力開発大学校(愛称:「九州ポリテクカレッジ」)は、
4つの分野の「ものづくり」を、ゼロから学ぶことができる場所。
自身で深慮し、仲間と協力しながら実際にものを作り、
検証を繰り返して「形」にします。
座学、実験・実習を通して、各系(分野)の「知識・技能・技術」と
その活用のためのノウハウを学び、専門力を身に付けます。
グループワークを通し「考える・伝える・行動する」力を養うとともに
人間力を培います。
学生主体のグループワークとして総合制作実習・
標準課題・開発課題を実施します。

アドミッションポリシー:求める学生像

本大学校は、産業界の変化に対応できる高度な知識と
技能・技術を兼ね備えた“自立型実践技術者”を育成することを目指しています。
このため、本大学校は、次のような方を広く求めています。

1. 大学校での学習に必要な基礎学力を有している人
2. 自己の能力向上に強い意欲を持ち、目標に向かって積極的に行動できる人
3. ものづくりに対して興味や関心があり、ものづくりに意欲を持つ人
4. 論理的に考え、他の人とコミュニケーションできる能力がある人
5. 自らの個性を発揮しつつ、他の人とも協調できる素養を備えている人
6. 創造性に富み、社会貢献に意欲を持つ人
7. 体力と忍耐力を備え、常にチャレンジする強い意志を持つ人



OPEN | OPEN THE WAY TO THE FUTURE
WITH TECHNOLOGY.

MESSAGE

九州職業能力開発大学校は、ものづくりの現場で活躍し、将来ものづくりの現場のリーダーとなる高度な技能・技術を持った実践的人材の育成を目的に設置された厚生労働省所管の国立の大学校です。主に高校卒業後の2年間を学ぶ専門課程と、専門課程修了後さらに2年間高度な内容を学ぶ応用課程が設置されています。修了生は産業界よりもものづくり分野の実践的人材として高い評価を頂いており、それを反映して近年は100%の実就職率を維持しています。当校には、機械系、電気系、電子情報系、建築系のものづくりに関係する4つの専攻分野が設置されています。これらは一般の大学の工学系と同様ですが、「職業能力開発大学

校」の最大の特徴は、実技実習を重視したカリキュラム構成と、チームで問題解決型のプロジェクト課題に取り組むグループワークを多く取り入れた実践型の教育訓練です。また、1クラス20-30名の少人数教育訓練によるきめ細かな指導を行っています。これまでは、座学を中心に学んでこれたと思いますが、当校では基礎を学ぶ座学に加えて、多くの実習により技能・技術が着実に身に付き、グループワークにより応用力、課題解決力、企画・提案能力やリーダーシップ、コミュニケーション能力などの実社会で必要な力を身に付けることができます。



九州職業能力開発大学校 校長
近藤 孝広

HISTORY

- 1987年(昭和62年)
4月 北九州職業訓練短期大学校開校
- 1993年(平成5年)
4月 北九州職業能力開発短期大学校に改称
- 1999年(平成11年)
4月 九州職業能力開発大学校に改組
応用課程を新設
- 2008年(平成20年)
4月 専門課程の情報システム系を廃止し、
電子情報システム系を新設
- 2012年(平成24年)
4月 専門課程に電気システム系を新設

INDEX

- 03 6つの特色
- 05 教育訓練システム
- 07 開発課題
- 09 生産ロボットシステムコース
- 10 共同研究
- 11 機械系
- 17 電気系
- 23 電子情報系
- 29 建築系
- 35 キャリア支援プログラム
- 41 CAMPUS MAP
[キャンパス紹介]
- 43 FACILITY[施設紹介]
- 45 EVENTS・CIRCLE
[行事・サークル紹介]
- 47 LIFE STYLE[学生生活紹介]
- 49 入試情報
- 51 Q&A
- 52 川内キャンパス
- 53 エリアマップ

6つの特色 “ものづくり” に徹した実践重視の環境

POINT

1

専門性の高い先生による指導と 少人数教育訓練で実践力を育てる

学生399名に対し、講師は39名(2025年度)

学生の教育訓練だけでなく、地域企業の従業員の人材育成や企業との共同研究も実施する専門性を備えた指導陣が、学生一人ひとりの特性や可能性を引き出すサポートを行います。少人数制なので、対面授業が基本です。

基礎から応用まで、丁寧に指導。

建物の仕組みから使う材料まで、建築の基礎知識を座学で身に付けた後に、住宅設計や小屋の施工などを通じて、専門知識を深く学べる環境が整っていることが、お勤めのポイントです。2年次には、「総合制作実習」といった科目があり、コンペ、実験、施工など自身が興味のあることをより深く学ぶことができます。自分がやってみたいこと、就職前に勉強したいことに挑戦することができる大学校です。



建築科
松土 光男先生

POINT

4

広い敷地と充実した 実験・実習設備

→p.41参照

13の校舎・実習棟と体育館、駐車場などが一つのキャンパス内に集結。各棟は屋根付きの通路で結ばれており、雨の日の移動も便利です。また、実験・実習に使用する機材は、企業で実際に使用されている機器類を導入しています。



POINT

2

実験・実習を重視した 実学融合のカリキュラム

授業の総時間の65%が実験・実習

座学で学んだことを実験・実習で確認することで知識が定着します。さらに、学んだ専門的な知識や技能・技術を活用する力を養うために、企業からの課題などを基にした学生主体のグループワークでのづくりを行うカリキュラムを設定しています。

座学で学び、実習で体験する

九州ポリテクカレッジの最大の強みは、実験・実習が充実している点だと感じます。座学で知識を深め、それを実験・実習を通して五感で体験しながら学ぶことができます。このような独自のカリキュラムによって、着実に研鑽を積むことが可能です。



生産機械システム技術科 修了
樋渡 優樹さん

POINT

5

手厚いキャリアサポート

→p.35参照

過去8年間 就職率100% (2018~2025年3月実績)

学生一人ひとりが安心して就職に向き合える「キャリア支援プログラム」を設定し、入学時よりキャリアサポートを行っています。積み重ねてきた実績から、企業の期待も大きく、求人も多数いただき、近年の実就職率は100%です。また、学生一人ひとりの希望に沿った就職を実現しているため、就業定着率は80%以上です。さらに、大学院へ進学する学生もいます。



POINT

3

各種競技会・ コンテストへの挑戦

各専門分野で多数の賞を受賞

当校の学生は、毎年さまざまな「ものづくり競技大会」「コンテスト」に積極的に出場しています。学生は学んだ知識、技能・技術を最大限に発揮し、未来につながる結果を残しています。

2025
年度
(前期分)

第20回若年者ものづくり競技大会
電気系:(メカトロニクス職種)金賞/厚生労働大臣賞
機械系:(フライス盤職種)銀賞



2024
年度

第19回若年者ものづくり競技大会
電気系:(メカトロニクス職種)銀賞
機械系:(フライス盤職種)銀賞



第28回LSIデザインコンテスト in 沖縄
電子情報系:敢闘賞
沖縄海洋ロボットコンペティション
電子情報系:最優秀賞

福岡県内高等学校並びに専門学校生による建築設計競技
建築系:会長賞

POINT

6

国公立大学並みの 負担の少ない授業料

→p.50参照

2年間で合計 約 1,100,000円(内授業料年間39万円)
4年間で合計 約 2,100,000円(内授業料年間39万円)

各専門分野で、企業が求める人材を育成するためのカリキュラムを負担の少ない授業料で学べます。また、経済的に困窮している学生には授業料減免制度があります。



教育訓練システム

私たちは「企業が求める高度なものづくりを支える人材」を育成しています。

生産現場で必要となる技能・技術と、それに関する理論を有機的にバランスよく結び付け、その中でも実験・実習に重点を置いたカリキュラムとなっています。学生一人ひとりが確かな実践力を身に付けることができます。

九州ポリテクカレッジで身に付く力



座学、実験・実習を通して、各系(分野)の知識、技能・技術とその活用のためのノウハウを学ぶ

グループワークを通し考え・伝え・行動する力を養う

学生主体のグループワークとして総合制作実習・標準課題・開発課題を実施します。グループワークを通し、人間力を培います。

実践力

実習では、複数の学生がグループを編成し、各人がグループ内で明確な役割を担当しながらものづくりを学びます。その中で、生産現場を意識しながら試行錯誤し、チームでものづくりに取り組むことで、様々な気づきを得ます。実践する中での気づきの経験が、社会へ出た後に大いに活かされます。

1 STEP UP 入校

専門課程 1・2年次

高校卒業者等を対象に、基礎的な技能・技術から専門分野に必要な高度な技能・技術までを体系的に習得します。

実践的な技術者

生産等に対応できる技能・技術と適切な判断能力を有する将来の生産工程のリーダー

- 機械系 生産機械技術科
- 電気系 電気エネルギー制御科
- 電子情報系 電子情報技術科
- 建築系 建築科

2 STEP UP 入校 or 就職

応用課程 3・4年次

専門課程修了者、または同等の技能と知識を有する方を対象に、高度な技能・技術や企画・開発力などを習得します。

生産の技術・管理を担う技術者

新製品の開発、生産工程の構築等に対応できる将来の生産技術・生産管理部門のリーダー

- 機械系 生産機械システム技術科
- 電気系 生産電気システム技術科
- 電子情報系 生産電子情報システム技術科
- 建築系 建築施工システム技術科

専門課程修了後、応用課程へ入校する者、就職する者に分かれます。応用課程へ入校するには、入校試験を受験し、合格する必要があります。

3 STEP UP 進学 or 就職

進学

大学院への進学が可能
(進学実績)
九州工業大学、鹿児島大学、
北九州市立大学、
大分大学、早稲田大学 他

就職

新しいステージへ

応用課程の

開発課題

Development Project

生産システム技術系3科の開発課題

4年次(応用課程)には、プロジェクトチームを作り、これまで学んできた知識・技能・技術の集大成として、構想企画、設計、試作、製作、評価までを行う開発課題と呼ぶ授業を受講します。特に生産システム技術系3科では、科の枠を越えてプロジェクトチームを構成し、各科の技術要素を結集させた課題に取り組みます。

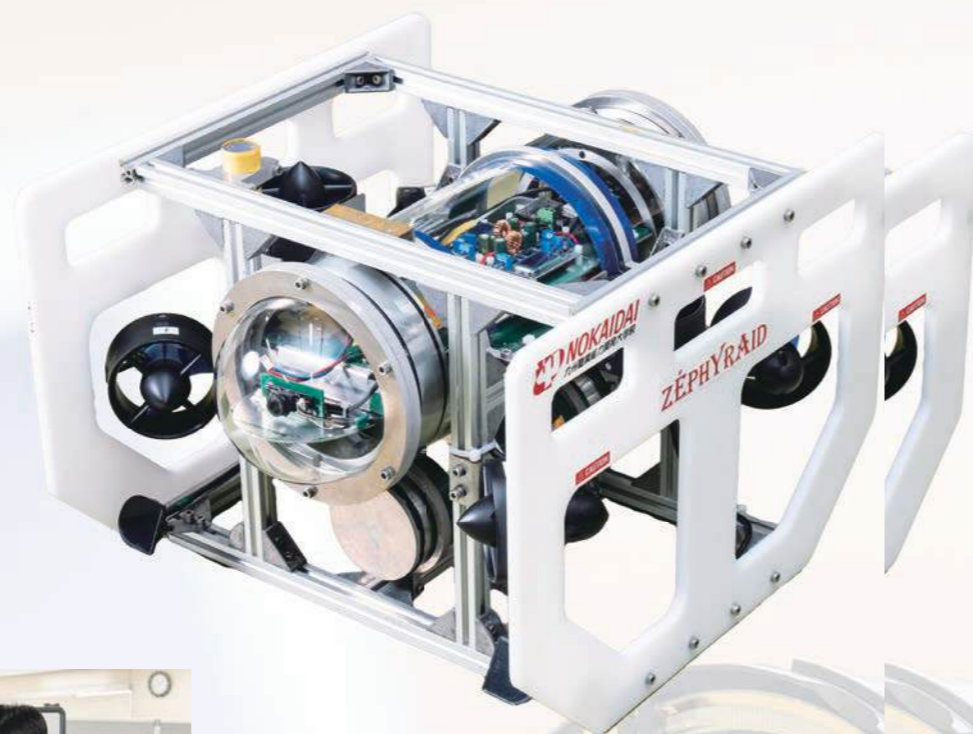
機械系

クリエイティブなデザインを
作り上げる設計部

装置全体の機械設計技術と各種加工技術を
応用し、全体の製作を担当します。

開発課題で要求される装置の構想をパソコンで
3Dモデル化します。3Dモデルを用いて強度解析
やモーション解析なども行い、各部のパーツをす
べて機械加工により製作します。

製作される装置は必要に応じて精度が必要なた
め様々な加工機を駆使して0.01mm単位の加工
を行い、精密な動作を可能にします。



電子情報系

あらゆる動きを司る司令部

機器全体をシステムとして設計します。
機能ごとに分けられたサブシステムを統
合し装置全体の動きを決定し、効率的に
制御します。

複数のサブシステムから装置全体を構成
し、統合されたシステムとして効率的に制
御します。サブシステムに搭載された各種
センサからの信号を、正確な値として取り
込むための測定・通信回路を製作し、画像
処理プログラム等とともに装置全体を効率
良く動作させます。また、実用化に向けて
IoT技術やビッグデータ・AI・クラウド技術
を活用することで、現代の電子情報技術に
対応できる実践技術者を育成します。

先生からのメッセージ
生産電子情報システム技術科 寺内 越三先生



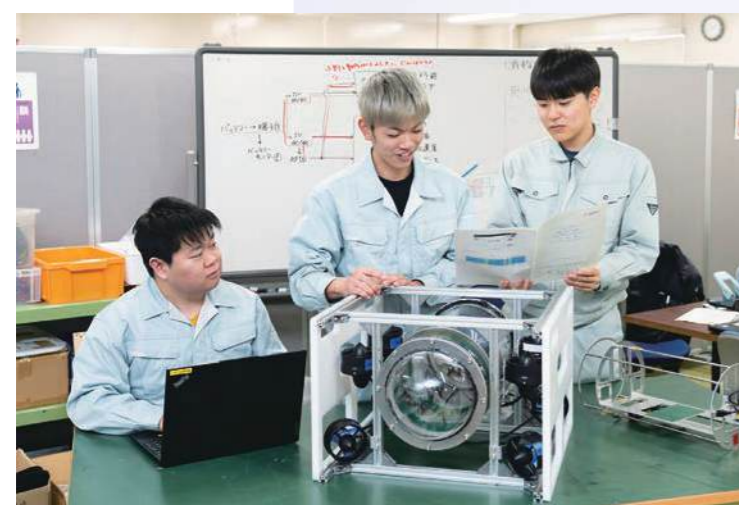
10数名の学生が3科の枠を越え、1年間かけ
て生産装置やロボットの製作に挑む「開発
課題」。ここでは、教科書にはない正解のない
問題に挑む場です。最新の設備と魅力的な
テーマは用意しました。あとは皆さんが「主
役」です。企画から発表まで一連の『ものづ
くり』工程を完遂させ、仲間と共に高い壁を
乗り越えてください。その先にある達成感と
技術者としての実力をここでつかみ取りま
しょう。

電気系

システムに使われている
各駆動部を操る制御部

司令部のコンピュータとモータやセンサなど
の周辺部品を電氣的に接続する回路設計・製
作を行います。

モータを駆動させる回路やセンサからの信号を
処理する回路、および電源に関わる制御回路全
体を担当します。司令部からの信号がこれらの回
路に正しく伝わることで、さまざまな動きを制御
できるようになります。



海中作業用ロボット

人が直接行くことができない海中を探索するために、海中ロボットの開発を行っています。ケーブルを介して人が操作する遠隔操縦ロボット(ROV)や、全自動で海中を航行する自律型海中ロボット(AUV)の開発を進めています。また、それらの製品評価のために各種ロボコに出場したり、企業等と共同でロボット開発に取り組んだりしています。

建築系の開発課題



本テーマでは、大空間構造を想定し製作を行いました。また、本構造物の製作を行う中で、BIMを活用した計画、設計はもとより、接合部実験や構造解析に基づく構造安全性の確認やコストおよび施工性の検討を行っています。



建築物が、フローからストックの時代へと定着しつつある現代において、鉄筋コンクリートの既存建物に対し、内・外装の改修と耐震補強に取り組みます。

古い建物を壊し新築する時代から、既存建築物を維持・管理し、長きにわたって使用する時代へと変革していく現代。地震大国と言われる日本において、被災状況から構造の仕組みも変わっていきます。建築物の改修として、内外装だけでなく、耐震診断に基づいた根拠のある耐震改修に取り組みます。



先生からのメッセージ
建築施工システム技術科 谷畑 伸一郎先生

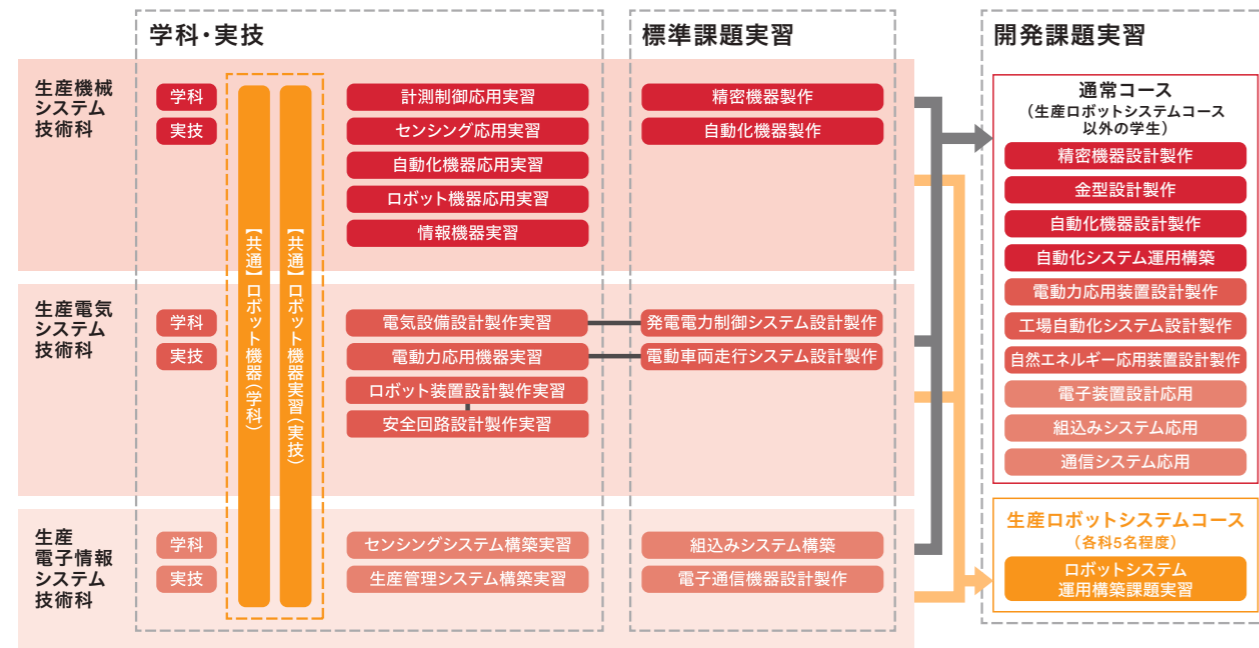
標準課題では、学生数が多いことから専門性をパートごとに分けましたが、開発課題では少人数(6名程度)であるため全てのパートの熟知が求められます。将来の施工管理職に向けて、施工計画・実施工・施工管理の一連の活動を体験いただきたいです。当校はものづくりの実践現場の再現として各種実習が充実しています。実習のために必要な座学も前段としてあります。つまり、実学一体の仕組みです。ものづくりに興味のある方には最適な大学校です。

生産ロボットシステムコース

Robot system course

～ロボット技術で未来の社会を支える～
設計、運用管理、保守等の実践技術者をめざす

カリキュラムには、生産システム技術系3科の応用課程学生が受講するロボット共通科目(学科と実技)があります。
学科「ロボットの構成・仕組み・効果等」、実技「シミュレーション・各種操作法等」が内容となります。



生産ロボットシステムコース 開発課題実習概要

ロボットシステム運用構築課題実習

目 標：『将来の生産技術・生産管理部門のリーダー』の育成。

テ ー マ：ロボット技術を活用した生産システムの構築、運用管理、保守及び改善。

ロボット：産業用ロボット、協働ロボットを想定。

課題内容：①ロボットの活用法や生産システムの構築法。

②需要拡大が予想される協働ロボットと産業ロボットの違いの理解。

専攻方法：生産機械システム技術科、生産電気システム技術科、生産電子情報システム技術科のいずれかに入校し、応用課程3年の3月までに選択。

生産ロボットシステム構築実習装置



垂直多関節ロボット

垂直多関節ロボット

パラレルリンクロボット

双腕多関節ロボット

共同研究

Joint research

地域の中企業等が抱える技術力強化等の課題解決のため、共同研究や受託研究を行い、省力化や機能性向上等に関する技術的支援を通じて地域社会に貢献するとともに、地域産業界との連携を通じて、生産現場のノウハウや最新の技術動向を把握し、実験・実習の授業の充実に役立てています。

「共同研究」は、民間企業等と連携して行う研究で、お互いに相応の費用を負担することとなります。

【課題例】



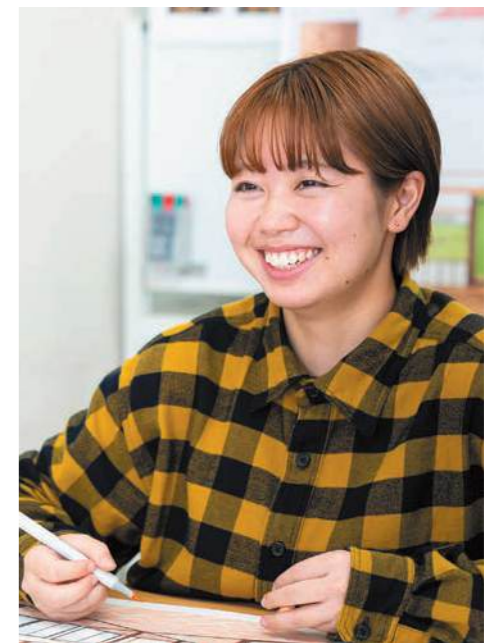
「自動ねじ締めシステムの開発」

従来の工場のライン作業では人手不足や品質のバラつき、コストが高いなどの課題があり、近年ではこれらの課題を解決するために工場の自動化が進んでいます。本研究では製造業の基本とも言えるねじ締め作業に着目し、ねじ締め作業のワークとねじの供給から排出までの一連の動作を自動で行うシステムを開発しています。締め付ける強さの制御を行うことで、締め付け精度の向上やカメラでの異常検出による品質向上などのメリットに期待できます。また、専用アプリケーションでの見える化も行っており、生産数や不良品数の確認や管理も容易に行うことができます。



「空家を改修しフリースクールをつくる」

外部からの依頼で空家を改修し、小学生が利用することができるフリースクールをつくっています。床のデザインなどの意匠を施主様へ提案し、施工まで行いました。学生のうちに実物件の施工に携われること、施主様の喜ぶ声を直接聞けることは、大変貴重な経験であるとともに、より一層のやりがいを感じられます。将来は住宅を建てられるようになり、さらに空家を改修して新しい使い方を普及させたいです。そのために、日頃の授業で学んだことを活かせるように集中して取り組んでいます。



機械系 Mechanical System

機械系では、工業製品の製造に必要な機械設計、精密加工、機械制御などの生産技術について学びます。1・2年次に相当する生産機械技術科(生産技術科)では、生産技術に必要な専門知識を学科・実技・実験を通して学び基礎の土台作りを行います。さらに設計から製作までのものづくりの一連の流れを学ぶことで、理解を深め、考える力、まとめる力を養います。3・4年次に相当する生産機械システム技術科では、これまで学んだ生産技術の知識・技術をより深め、グループワークを通じて生産工程の管理・改善・運用について的手法を学びます。4年次では、他科との連携を通じて習得した知識・技術を融合させ、製品の企画開発に活かします。

機械系の活かせる分野

自動車の製造分野

工業製品のベースとなる設計・加工・制御を学び、自動車製造に活かす。

自動化機器の製造分野

製品企画から設計・加工まで、ものづくりの一連の流れを学び、ロボットや自動化機器の分野で活かす。

プラントメンテナンス分野

生産設備の安定した稼働のため、工場設備の維持、管理、改善の分野で活かす。

Qualifications 資格

在校中に受験可能

- 技能検定
機械保全/旋盤/フライス盤/マシニングセンタ/数値制御旋盤/機械検査/機械プラント製図
- 機械設計技術者 ●CAD利用技術者 など

2025年度合格実績

- 技能検定2級普通旋盤作業実技試験 6名
- 技能検定2級フライス盤作業実技試験 3名

競技会等での活躍

九州ポリテクカレッジでは、毎年、積極的に競技会に参加しています。そして、多くの好成績を残しています。



フライス盤種目作業中の学生

第20回 若年者ものづくり競技大会 フライス盤種目銀賞

2025年8月1日～8月4日

九州能開大からは、フライス盤種目と旋盤種目に生産機械技術科の2年生が出場しました。全国の職業能力開発施設や工業高校等で技能を習得中の若年者(原則20歳以下)が集まり、与えられた課題について技能レベルを競い合いました。

競技は課題を3時間以内に図面の指示通りに加工します。課題には色々な加工要素が含まれており、1/100mmの加工精度が要求されます。また、2つの部品をはめ合わせなければならず、いかに手際よく高精度の加工ができるかが腕の見せ所です。

大会当日は積み上げてきた技能を発揮することができ、フライス盤種目で銀賞(2位)を受賞しました。

先生からのメッセージ

生産機械技術科

専門課程 | 1年次 / 2年次

生産技術に必要な専門知識を学科・実習・実験を通して学び、基礎の土台作りを行います。さらに設計から製作までのものづくりの一連の流れを学びグループワークを行うことで、考え行動する力を養うことができます。

ものづくりに対して興味や関心がある皆さん、設備が整った環境で、経験豊富な先生のもと、世にないOnly Oneを形にしてみませんか？



松原 和範先生
生産機械技術科

生産機械システム技術科

応用課程 | 3年次 / 4年次

機械系では、ものづくりに必要な機械設計、精密加工、機械制御について学びます。少人数制の技術習得に最適な環境の中、知識や技術に関する「テクニカルスキル」と良好な人間関係をつくる「ヒューマンスキル」を習得し、職場のリーダーとして活躍できる人材を育成することを目的に指導を行っています。

応用課程で成長する力を磨き、社会で活躍できる人間力を高めてください。



大庭 英樹先生
生産機械システム技術科



生産機械技術科

Department of Production Engineering Mechanical Systems



身近にある金属部品やプラスチック部品の加工、機械の設計に必要な知識と技術を学びます。

パソコンで機械装置を設計し、部品を製作して組み立て、さらに制御して動かす、というプロセスを実習を通じて習得します。生産機械技術科では、自ら「ものづくり」のできるエンジニアを目標に、機械設計技術、機械加工技術、機械制御・保全技術の3本柱を中心として実践技能者の育成を行っています。総合制作実習では、企画・構想から、設計、加工、組立、検査、そして評価といった一連のものづくりについて学びます。

※令和6年度から募集科名を生産技術科から生産機械技術科に変更しています。

Point 01

機械設計技術

3次元CADを活用して、精密機械を設計する技術を学びます。

Point 02

精密加工技術

金属を0.01mm単位で削って、精密部品を作る技術を学びます。

Point 03

制御技術

工場内で使われるロボットや自動機を動かす制御技術を学びます。

Curriculum カリキュラム

	1年次/1・2期	1年次/3・4期	2年次/5・6期	2年次/7・8期	
各期ごとの教育訓練目標	知る 生産技術への招待 加工の基礎や制御技術の基礎的な土台作りを行い機械加工の概念を知る。	学ぶ 生産技術に必要な基本的な専門知識等を学科・実技を通して学ぶ。	考える 生産技術の基礎的知識を踏まえて、CADやNC工作機械の活用技術を学び知識を広め、考える。	まとめ システムの構築 最新のCAD/CAM/CAEによる機械設計・NC工作機械による精密加工技術の習得により物の設計から製作までの一連の流れをまとめる。	
学科	<ul style="list-style-type: none"> 電気工学概論(2) コンピュータ基礎(2) 工業材料(2) 工業力学(2) 基礎製図(2) 	<ul style="list-style-type: none"> 機械製図(2) 安全衛生工学(2) 機械加工(2) 安全ビジネスコミュニケーション(1) 	<ul style="list-style-type: none"> 機械数学(2) 材料力学(2) 品質管理(2) 機械工作(2) 数値制御加工I(2) 	<ul style="list-style-type: none"> 機械要素設計(2) 精密測定(2) 油圧・空圧制御(2) シーケンス制御(2) 	<ul style="list-style-type: none"> 総合力学(1) 数値制御(2) 数値制御加工II(2) メカニズム(2) 機械設計製図I(2) 機械設計製図II(2)
実験実技	<ul style="list-style-type: none"> 基礎工学実験(2) 電気・電子工学実験(2) 情報処理実習(2) CAD実習I(2) 機械加工実習(4) 	<ul style="list-style-type: none"> 情報処理実習(2) CAD実習II(4) 機械加工実習(4) 数値制御加工実習I(2) 精密加工実習(2) シーケンス制御実習I(2) 測定実習(2) 	<ul style="list-style-type: none"> CAD実習III(2) CAD/CAM実習I(2) 機械工作実習(2) 数値制御加工実習II(2) 精密組立実習I・II・III(8) シーケンス制御実習II(4) メカトロ機器製作実習I(2) 機械設計製図実習(2) 	<ul style="list-style-type: none"> 機械工学実験(4) CAD/CAM実習I(2) CAD/CAM実習II(2) 機械加工実習(4) 機械工作実習(2) センサ実習(2) メカトロ機器製作実習II(2) 企業実習(4) 総合課題実習(4) 総合制作実習(12) 	
一般教育科目	<ul style="list-style-type: none"> 物理(2) 数学(2) 英語I(2) 	<ul style="list-style-type: none"> 職業社会概論(2) 法学I(2) 英語II(2) 保健体育(2) 	<ul style="list-style-type: none"> 工業英語(2) キャリア形成概論(2) 	<ul style="list-style-type: none"> 心理学(1) 	

※()内の数字は単位。●:必修科目(出席が80%以上で評価点が60点以上必要) ○:選択科目(1科目を選択し履修する科目は156単位以上を履修する必要があります)

Practical Subjects 実習科目



CAD実習

パソコン上で図面や立体モデルを作成するCADを学びます。3次元の部品を組み立てて、製品全体の検討ができます。



機械加工実習

旋盤・フライス盤などの工作機械の基本操作を習得するとともに、加工方法・手順について学びます。



測定実習

製作した部品の寸法や形状が図面通りか測定して確認します。精密部品を高精度で測定できる機器の使用方法および測定原理を習得します。



数値制御加工実習

部品を自動で加工するためのNCプログラムを作成します。さらに機械操作・実際の加工までの一連の流れを学びます。



機械工学実験

様々な物理現象を観察し、結果をまとめ考えることで、物事を理論的に考察できる能力を養います。



シーケンス制御実習

順序通りに機械を動かすシーケンスプログラムの作成、PLCの使用方法について学びます。

Voice of Teacher 先生からのメッセージ

生産機械技術科に入校する学生の多くは機械に関する知識が少ないです。ですが、基礎からしっかりと学ぶことができ、授業の約7割が実験・実習になるので、座学で学んだ知識を活かして技能・技術を身に付けることができます。また、若年者ものづくり競技大会への参加や、技能を高めるために技能検定取得に向けた取り組みもあるため、やる気があればいろいろ挑戦することができます。授業科目が多いため勉強は大変ですが、一人ひとりが少しでも多くの技能や技術・考える力を身に付け、長い職業人生で活躍できるように、私たちと一緒に学んでいきましょう。基礎からしっかりと学んで、基礎的な部分から専門的なものづくりに関する技能・技術まで身に付けてください。

生産機械技術科 永田 拓馬先生



生産機械システム技術科

Department of Production Engineering Mechanical Systems



NC精密加工・製品設計・計測制御の知識・技術を学ぶ。

自動車、精密機械、金型、ロボット、自動化機器などにおける製品企画、設計、生産システム、生産管理などの分野で活躍できる高度な機械技術者を目指します。

Voice of Graduate 修了生の声

装置が完成した時の達成感を感じます！

六連 太一さん 生産機械システム技術科 修了(日鉄テックスエンジニアリング株式会社)

開発課題では、装置の設計開発だけでなく、グループワークを通じてコミュニケーション能力、リーダーシップなども学んでいます。何も無いところからスタートし学生同士で意見を出し合い、1つの装置を作り上げるため、装置が完成し動いた際には達成感を得ることができます。他の大学と違い実践的な授業が多く、自分の成長が目に見えてわかります。現在は学生時代のスキルを活かして、日鉄テックスエンジニアリング株式会社のプロセス装置設計グループでエンジニアとして頑張っています。



Curriculum カリキュラム

	3年次			4年次
目標	技能・技術の理解をして課題分析ができる。			課題に対する提案と開発を行い、報告書作成と発表ができる。
専攻学科	工業技術英語(2) 生産管理(2) 品質管理(2) 経営管理(2) 工業法規(2)	製品材料設計(2) 精密機器設計(2) 機械工学特論(2) 精密加工応用(2) 計測制御(2)	自動化機器(2) ロボット機器(2) 生産情報処理(2) 安全衛生管理(2) 職業能力開発体系論(2)	創造的開発技法(4) 自動化機器設計(2) センシング(2)
専攻実技	電気電子機器実習(4) 情報機器実習(2) CAD/CAM応用実習(6) 精密加工応用実習(8)	自動化機器応用実習(4) ロボット機器実習(2) ロボット機器応用実習(2)	精密機器製作課題実習(10) [A] 自動化機器製作課題実習(10) [B] CAE実習(2)	計測制御応用実習(4) センシング応用実習(2) 生産自動化システム(2) 生産情報処理実習(2)
応用				精密機器設計製作課題実習 金型設計製作課題実習 自動化機器設計製作課題実習 自動化システム運用構築課題実習 ロボットシステム運用構築課題実習 (54)

※()内の数字は単位。[A]、[B]は選択科目(1科目を選択し履修する)。

Practice on Standard Assignments 標準課題実習

現場に近い形で、グループで協力して製品を作り上げます。今まで培った技術と技能を応用して課題実習に取り組みます。コミュニケーションスキルやマネジメント手法を実践しながらものづくりの一連の流れを習得します。



全方向移動型ロボットの設計とジグ開発
3次元CADを使って全方向歩行型ロボットの部品設計やモデリング、評価を行います。



全方向移動型ロボットの製作と制御
平衡リンク機構を利用した脚と、XYテーブルと一体化した脚を交互に移動し、全方向移動を可能にした歩行型ロボットを製作します。

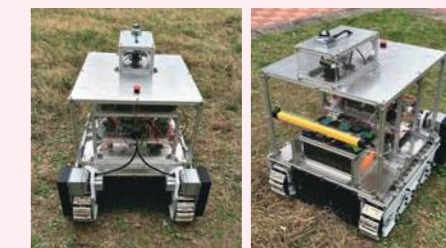


自動化機器製作課題実習
全方向歩行型ロボットの部品製作や組立調整、歩行動作のプログラミングを行います。

Development Project Practice 開発課題実習/4年次 —実践力を養う学生主体のグループワーク

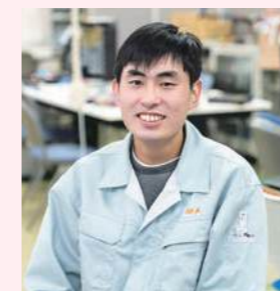
プロジェクトテーマ 『農業用支援システムの開発』

生産システム系の3学科の学生が、それぞれの専門分野を活かし、農作業における重労働や労働力不足の解消、持続可能な農業への転換を目的として、システム開発に取り組んでいます。草刈りロボットにはLiDARセンサーとカメラを搭載し、自動運転および手動運転時に物体を検出して衝突を回避します。自動運転ではGPSを用いて自己位置を特定し、指定された走行経路に沿って走行するシステムを構築します。また、草刈りロボットは給電ステーションで充電が可能で、太陽光発電を活用した給電ステーションを製作します。



農業支援用ロボット

在校生の声



私は、開発課題として「農業用支援システムの開発」というプロジェクトに取り組んでおり、草刈りロボットの製作を担当しています。このプロジェクトは、機械科・電気科・電子情報科の3学科が連携して進めているものです。その中で、電気科や電子情報科が取り扱う機器の搭載部分である筐体の設計・製作を行いました。電気や電子情報に関する専門知識が十分ではないため、機器の搭載部分については構想段階から設計・加工に至るまで、他学科のメンバーと何度も綿密に確認を重ねながら進めました。異なる専門分野を持つ他学科のメンバーと密にコミュニケーションを取りながら設計・製作を行う機会は、将来に繋がる貴重な経験だと実感しています。このように、学科の壁を越えた実践的なものづくりができる環境こそが、最大の魅力であり、強みだと感じています。

稲森 廉人さん 生産機械システム技術科(鹿児島県立鹿児島南高等学校出身)

電気系

Electrical System

電気系では、電気設備の保守管理を行うための電気技術、太陽光・風力発電などの再生可能エネルギーを含めたエネルギー技術、工場内での自動化やプログラムによる制御技術を学びます。

電気は、社会のインフラを支える大切な技術です。また、電気技術者は、電力供給から電気の利用まで幅広い分野で活躍が期待されています。実学一体のカリキュラムにて、電気の知識だけでなく実験・実習を通して技能・技術を学び、次世代のインフラを支える電気技術者を目指します。

電気系の活かせる分野

電気設備の施工・保全分野

電力管理、環境エネルギーを学び、電気設備の施工・保全分野で活かす。

製造分野

生産自動化機械の施工・管理・保守を学び、製造分野で活かす。

生産機械の設計・開発分野

自動化機械の開発、製造ラインの構築を学び、電気・機械の設計・開発につなげる。

Qualifications

資格

在校中に取得可能な資格

- 技能検定
機械保全／電子機器組み立て／シーケンス制御作業／電気製図
- 第一種電気工事士
- 第三種電気主任技術者
- 施工管理技術検定
- 第二種電気工事士など

競技会等での活躍

九州ポリテクカレッジでは、毎年、積極的に競技会に参加しています。そして、多くの好成績を残しています。



大会会場にて記念撮影(左:森さん、右:松本さん)

第20回 若年者ものづくり競技大会 メカトロニクス種目で「金賞/厚生労働大臣賞」を受賞

2025年8月4日

8月4日(月)にあなぶきアリーナ香川にて第20回若年者ものづくり競技大会メカトロニクス種目が開催されました。九州能開大では、電気エネルギー制御科の2年生2名(森陽人さん、松本将輝さん)がチームとして出場しました。

メカトロニクス種目では、1チーム2名で競技が行われ、全20チーム40名が参加する中で実施されました。競技課題は支給された部品および図面をもとに、模擬生産設備の機械装置、電気回路、および空気圧回路を組み替え、調整を行います。さらに、3ステーションを組み合わせた模擬生産設備を構築し、仕様書通りワークが搬送されるように動作プログラムを作成します。第1課題と第1課題で構築された生産設備を改善するための保全作業の第2課題に分かれて実施されました。競技時間内に動作設備を動作させるためには、選手個々の技術×技能もさることながら、2人のチームワークも要求される競技となっています。

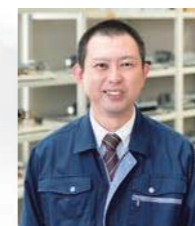
九州能開大チームは日ごろの成果を発揮した結果、見事金賞を受賞し技能五輪競技大会に出場しました。

先生からのメッセージ

電気エネルギー制御科

専門課程 | 1年次 / 2年次

電気は難しく、仕事も電気工事だけというイメージが強いと思います。当校では電気の基礎知識から学び、プログラミング技術なども身に付けることができます。工場やビルなどの電気設備のメンテナンスはもちろんのこと、より効率的でコストを抑えた製品の製造を行うための技術や設備開発を行える人材になりませんか。



安心院 邦仁先生
電気エネルギー制御科

生産電気システム技術科

応用課程 | 3年次 / 4年次

これまで、勉強なんか何が面白いんだ、かったるい、何の役に立つんだと思いつつも、何となく進学しようとしている方へ。当校で“ものづくり”を通して技術を学び、学んだ知識でものを作り上げる喜びを感じませんか。自分で考えて作ったものが動く楽しいですよ。



久場 政洋先生
生産電気システム技術科

電気エネルギー制御科

Department of Electrical Energy Control



工場の自動化ができる技術を学ぶとともに、工場やオフィスビルの電気設備に関する施工・保守・管理について学びます。

今後、益々重要となる工場の無人化や省エネルギー化、再生可能エネルギーの利用及び分散電源(太陽電池や風力発電など)の活用などを意識した設備の改善ができる実践技術者を目指します。

Point 01

電気技術

電気の基礎から、電気設備の保守管理を実施する。

Point 02

エネルギー技術

太陽光・風力発電など環境・エネルギー技術を学ぶ。

Point 03

制御技術

工場内の自動化や制御プログラミングを習得する。

Curriculum カリキュラム

	1年次/1・2期	1年次/3・4期	2年次/5・6期	2年次/7・8期
各期ごとの教育訓練目標	知る 電気技術基礎を確立 電気の基礎や制御技術の基礎的な土台作りを行い電気や制御についての概念を知る。	学ぶ 制御技術の習得 電気や電子技術に必要な基本的な専門知識等を学科・実技を通して学ぶ。	考える 制御技術と電気エネルギー 電気・電子の基礎的知識を踏まえて、シーケンス制御・マイコン制御・エネルギー技術へ知識を広め、考える。	まとめ システムの構築 学んだことをベースにして、電気機器の有効利用やFAシステムの構築を行う。
学科	<ul style="list-style-type: none"> ●コンピュータ工学(2) ●電磁気学Ⅰ(2) ●電磁気学Ⅱ(2) ●電気回路Ⅰ(2) ●電気回路Ⅱ(2) ●電気数学Ⅰ(2) ●電子回路工学Ⅰ(2) ●電子回路工学Ⅱ(2) ●安全衛生工学(2) ●機械工学概論Ⅰ(2) ●シーケンス制御(2) ●電気設備(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ●電気数学Ⅱ(2) ●制御工学Ⅰ(2) ●機械工学概論Ⅱ(2) ●電気・電子計測(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ●電気機器学Ⅰ(2) ●電力管理(2) ●インタフェース技術(2) ●制御プログラミング(2) ●環境エネルギー工学(1) ●電気機器学Ⅱ(2) ●センサ工学(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ●制御工学Ⅱ(2) ●品質管理(2) ●電気エネルギー概論(2) ●環境エネルギー工学(1) ●自動制御(2)
専門科目	<ul style="list-style-type: none"> ●電気工学基礎実験(4) ●電子工学基礎実験(2) ●機械工作実習(2) ●シーケンス回路実習(4) 	<ul style="list-style-type: none"> ●電子工学基礎実験(2) ●電子回路基礎実験(4) ●情報工学基礎実習(4) ●機械工作実習(2) ●シーケンス制御実習Ⅰ(4) ●空気圧実習(2) ●電気設備実習(2) ●CAD実習(4) ●電気・電子計測実習(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ●シーケンス制御実習Ⅱ(2) ●産業用ロボット制御実習(2) ●制御盤製作実習(2) ●電気機器実験(2) ●電力管理実習(2) ●電力工学実習(2) ●制御プログラミング実習(4) ●電子CAD実習(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ●FAシステム実習Ⅰ(2) ●FAシステム実習Ⅱ(2) ●電気機器実験(2) ●環境エネルギー実験(2) ●自律型ロボット製作実習(4) ○企業実習(4) ○総合制作課題(4) ●総合制作実習(12)
一般教育科目	<ul style="list-style-type: none"> ●物理 ●数学 ●英語Ⅰ 	<ul style="list-style-type: none"> ●職業社会概論 ●法学 英語Ⅱ 保健体育 	<ul style="list-style-type: none"> ●工業英語 ●キャリア形成概論 	<ul style="list-style-type: none"> ●心理学

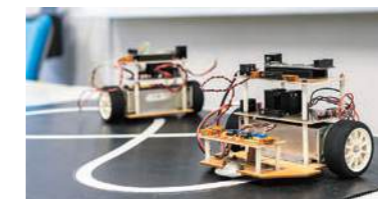
※()内の数字は単位。●:必修科目(出席が80%以上で評価点が60点以上必要) ○:選択科目(1科目を選択し履修する) 科目は156単位以上を履修する必要があります。

Practical Subjects 実習科目



電子回路基礎実験

電子回路で使用する部品の特性を実験します。LED、トランジスタや論理回路を理解することにより、マイコン制御を学ぶ上における基礎を学んでいきます。



自律型ロボット製作実習

センサ、電子回路を組み合わせ、マイコン制御でロボットをコントロールする技術を学びます。白線のラインを検知し、ラインから外れないように走行させます。



FAシステム実習

製造現場の自動組立ラインを想定し、産業用ロボット、空気圧機器、タッチパネルを組み合わせ、通信ネットワークを利用した製品組立・搬送を自動で行えるようプログラミングを行います。



電力管理実習

電力受電設備の取扱い方を習得することにより、電力管理やエネルギー管理の実務を理解するとともに、電力設備に関する計画・施工・管理について学習します。



環境エネルギー実験

ヒートポンプや再生エネルギーなどの省エネルギー技術や環境にやさしい太陽光や風力などの自然エネルギーを有効に利用するための技術を学んでいきます。



産業用ロボット制御実習

産業用ロボットの構造や特徴を理解し、実際にティーチングやプログラム作成を行うことで、ロボットの制御方法を学んでいきます。

Voice of Teacher 先生からのメッセージ

電気の法則や電子回路を構成する素子の特性などの測定を通して学ぶ、電気工学基礎実験や電子工学基礎実験を担当しています。また、情報工学基礎実習や制御プログラミング実習も担当しており、C言語というプログラミング言語の習得やマイコンを用いた周辺機器の制御を学びます。少人数制を採用しているため、座学や実習でも先生や友達に聞きやすい環境なのではないかと思えます。当校では、皆さんがやりたいものになるためのお手伝いをする事ができると思えます。そのためには、皆さんが何になりたいのかを可能な限り明確にし、そのための実行力を持っていただくことが、それを可能にすると考えます。

電気エネルギー制御科 朝長 成吾先生



生産電気システム技術科

Department of Production and Electrical Systems Technology

自然エネルギー利用技術、電動力応用技術、工場自動化技術を養い、電気電子回路の設計製作技術を学ぶ。

電気電子回路の設計製作を基本として、自然エネルギー利用や電動力応用および工場の自動化といった技術の習得、企画開発や生産管理およびプロジェクト推進などの能力の養成を行います。これにより、省エネルギー化や環境を考慮したシステムの企画・開発、生産工程の改善や運用・管理などに対応できる技術者の育成を目指します。



Voice of Graduate 修生の声

必要な知識やスキルの習得に日々精進しています

大寺 史耶さん 生産電気システム技術科 修了(鹿児島県立川内商工高等学校出身)(株式会社安川電機)

現在はパワーエレクトロニクスに関する基礎技術の研究/開発業務に携わっています。産学連携にも力を入れており、アカデミックな最先端技術を吸収/活用しつつ、新たな技術開発に取り組んでいます。技術開発を進める中で、思い通りにいかないこともあります。これまでに培った知識と経験を活かし、多角的に要因を分析することで問題を解決しています。高く大きな壁にぶつかるほど、問題解決に至ったときの喜びとやりがいを大いに感じます。今しかないこの時に、様々なことに挑戦して、有意義な学生生活を送れることを期待しています。



Curriculum カリキュラム

	3年次			4年次
目標	技能技術の理解をして課題分析ができる。			複合した技能・技術の活用・実践ができる。
専攻学科	工業技術英語(2) 生産管理(2) 品質管理(2) 経営管理(2) 工業法規(2) 職業能力開発体系論(2)	機械工学概論(2) 電気設備管理及び電気法規(2) 発電工学(2) 送配電工学(2) ロボット機器(2)	自動計測(2) パワーエレクトロニクス(2) 安全衛生管理(2)	創造的開発技法(4) 応用電子回路(2) 新エネルギー技術(2) エネルギーマネジメントシステム(2) 安全衛生管理(2)
専攻実技	機械工作・組立て実習(4) CAD/CAM応用実習(4) 電子装置設計製作実習(4) 電気設備設計製作実習(4)	ロボット機器実習(4) コンピュータ応用実習(4) 電動力応用機器実習(4)	パワーエレクトロニクス実習(4) 発電電力制御システム設計製作課題実習(10) 電動車両走行システム設計製作課題実習(10)	安全回路設計製作実習(2) ロボット装置設計製作実習(8) 自動計測実習(2) 自動化システム応用実習(2)
応用				電動力応用装置設計製作課題実習 工場自動化システム設計製作課題実習 自然エネルギー応用装置設計製作課題実習 ロボットシステム運用構築課題実習 (54)

※()内の数字は単位。

Practice on Standard Assignments 標準課題実習など

現場に近い形で、グループで協力して製品を作り上げます。今まで培った技術と技能を応用して課題実習に取り組みます。コミュニケーションスキルやマネジメント手法を実践しながらものづくりの一連の流れを習得します。



発電電力制御システム設計製作課題実習

太陽光発電システムで使われる系統連系技術(パワーコンディショナ)について、回路設計・シミュレーション・実機製作および動作特性評価までを一貫して行います。



電動車両走行システム設計製作課題実習

モータ制御の一例として電動車両用モータ制御システムの設計・製作を習得し、マイクロコンピュータのプログラム開発と電力素子を用いたパワーエレクトロニクスの実践的な回路技術を習得します。



電気装置設計製作実習

FAシステムの構築を習得するための一例として、折り紙飛行機を折る工程を機械化するにはどのようにすれば良いのかを考え、企画開発・設計・製作・製品評価までの一連の実習を行います。

Development Project Practice 開発課題実習/4年次 ――実践力を養う学生主体のグループワーク

プロジェクトテーマ 『圃場作業用農場ロボットの開発』

現在、日本の農業現場では農業従事者の高齢化や人手不足のため深刻な労働力不足となっています。こうした問題を解決する切り札として期待されているのが農業用ロボットです。本開発ではトマトを収穫するロボットの製作を進めています。製作の中で企画・設計・試作・製作・評価のプロセスを経験しています。また「トマトロボット競技会」への参加や各種スマート農業関連の情報収集等を通して、他大学やその他関係機関との技術・情報交流を図り、自らの技術力とコミュニケーション能力を向上させ、今後エンジニアとして社会に役立つ人材として成長することを目的としています。更にトマト以外の農作物(例えば、イチゴやパプリカ等)の認識や非接触でバッテリーを充電する装置製作にもチャレンジしています。



在校生の声

私は圃場作業用農場ロボットの開発をしています。ここではトマトを自動で収穫するロボットを製作しています。私は主に走行部のモータ制御を担当しています。開発は3科合同で取り組むので、意見をすり合わせるが大変なこともあり、各分野の要求を満たすために設計を見直すことも多々あります。しかし、その分、自分の担当分野が他の要素と連携し、ロボットが実際に動いたときの達成感はとても大きいです。他校ではなかなか経験出来ない実習ができるので、ぜひ来てください。

宮崎 怜央さん 生産電気システム技術科(大分工業高等専門学校出身)

電子情報系

Electronics Information Systems

電子情報系ではハードウェアとソフトウェアの両面から知識、技能・技術を学びます。

ハードウェア分野では、LEDや各種センサ、モータなどの制御回路の設計・製作技術を学びます。ソフトウェア分野では、PC上で動くアプリケーションの制作や、マイコンを使いハードウェアを制御するプログラムの制作技術を学びます。また、グループワークを通して、社会人や実践技術者として必要な企画力やプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を向上させることができます。

電子情報系の活かせる分野

電気電子回路分野

電気電子回路を基礎から学び、設計開発製造分野で活かす。

組み込みシステム分野

IoTに必要な不可欠な組み込み機器について学び、組み込みシステム分野で活かす。

情報・通信システム分野

基礎のアプリケーション開発から、DBやWebアプリケーションの開発手法を学び、情報・通信システム分野で活かす。

Qualifications

資格

在校中に取得可能な資格

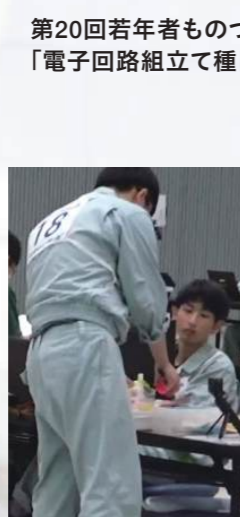
- 技能検定
電子機器組立 / 電子回路接続 / プリント配線板製造
- 基本情報技術者
- 組み込みソフトウェア技術者
- 工事担当者(ネットワーク接続技術者)

競技会等での活躍

九州ポリテクカレッジでは、毎年、積極的に競技会に参加しています。そして、多くの好成績を残しています。



電子回路組立て種目に取組む学生



第20回若年者ものづくり競技大会 「電子回路組立て種目」と「ロボットソフト組み込み種目」に出場 2025年8月3日～4日(あなぶきアリーナ香川)

「ロボットソフト組み込み種目」では、自作ロボットを完成させ、課題にチャレンジしました。ソフトウェアの面では授業でまだ触れていなかったJavaでプログラム作成を行ったため、思うように動作しないプログラムを組んでしまいました。また、ハードウェアの面ではロボットを作ることが人生で初めての経験であったため、アイデアがなかなか出てこない事や知識がなかった事でかなり時間を要してしまいました。結果は、かなり悔いが残るものになってしまいましたが、非常に楽しく良い経験を得ることができました。

「電子回路組立て種目」では、練習で一度もなかった基板の動作不良に本番で初めて直面しました。それでも、プログラムに気持ちを切り替え、最後まで諦めずに競技を終えることができました。入賞は逃しましたが、苦手だったプログラム知識が大幅に増え、はんだ付け技術も向上したと思います。全国大会でベストを尽くした経験は、今後の大きな財産です。

先生からのメッセージ

電子情報技術科

専門課程 | 1年次 / 2年次

専門課程2年間で短大卒業相当として就職する、さらに、応用課程で2年間学ぶことで4年制大学卒業相当として就職または、大学院への進学が目指せる、学びながら将来の方向を選択できる大学校です。将来、ものづくり関係の仕事に就きたいと考えている学生のみならず、ぜひ当校を検討してみてください。



飯星 潤先生
電子情報技術科

生産電子情報システム技術科

応用課程 | 3年次 / 4年次

応用課程では、仲間と協力してシステムを創り上げる実習を通じ、「ものづくり」の真の楽しさを味わえます。電子情報技術は、今やあらゆるものづくりの中心的な存在です。AIやIoT、ロボット関連技術等を活用した実践的な学びは、製造業のDX推進や情報通信業でのシステム・ネットワーク開発といった幅広い業種で活躍する武器になります。最先端技術をワクワクしながら学び、社会の真ん中で輝くエンジニアを目指しませんか。



玉井 瑞又先生
生産電子情報システム技術科



電子情報技術科

Department of Electronics and Information Technology

ロボットや家電に代表される組み込み機器を製作するための知識と技術を学びます。

機器の製作には、電子回路を設計・製作するためのハードウェア技術と機器の動作を制御するためのソフトウェア技術が必要になります。電子情報技術科では、ハードウェア技術とソフトウェア技術の両方に精通した実践技術者を目指します。



Point 01

ハードウェア

モータ駆動回路など、組み込み機器を構成する電子回路技術を学ぶ。

Point 02

ソフトウェア

組み込み機器などの動作を制御するプログラミング技術を学ぶ。

Point 03

通信ネットワーク

情報を送受信する通信ネットワーク技術を学ぶ。

Curriculum カリキュラム

	1年次/1・2期	1年次/3・4期	2年次/5・6期	2年次/7・8期
各期ごとの教育訓練目標	知る 電子情報システム系への招待 電子情報システム系の実践技術者に欠かすことのできない基本的な知識・技能を習得します。	学ぶ 電子情報技術の基礎 電子情報に必要な電子回路と情報処理の基本的な専門知識と技能を学科・実技を通して習得します。	考える 回路設計製作と制御プログラミング マイコンボード、インタフェース回路の設計製作、制御プログラムの制作を通して設計製作技術を習得します。	まとめ 組み込み機器の設計製作 学んだことをベースにして組み込み機器の設計製作及び制御プログラムの制作を行います。
学科	<ul style="list-style-type: none"> 大学校入門講座(2) 電気回路(2) 電子工学(2) 電子情報数学(1) 安全衛生工学(2) コンピュータ工学(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ●電磁気学(2) ●情報通信工学(2) ●データ構造・アルゴリズム(2) ●電子情報数学(2) ●組み込みシステム工学(2) ●デジタル回路技術(2) ●センサ工学(2) ●電子回路(2) ●システム設計概論(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ●アナログ回路技術(2) ●マイクロコンピュータ工学(2) ●組み込みオペレーティングシステム(2) ●計測制御技術(2) ●組み込みソフトウェア応用技術(2) ●ファームウェア技術(1) ●インタフェース技術(2) ●ネットワーク技術(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ●環境・エネルギー概論(2) ●生産工学(2) ●ファームウェア技術(2) ●DXと関連技術(2)
専門科目	<ul style="list-style-type: none"> ●電気電子工学実験(4) ●自動制御実習(4) ●電子機器組立て実習(2) ●コンピュータ基礎実習(2) ●組み込みソフトウェア基礎実習(4) ●GUIプログラミング実習(2) ●基礎工作実習(4) 	<ul style="list-style-type: none"> ●アナログ回路基礎実習(2) ●デジタル回路基礎実習(2) ●情報通信工学実習(2) ●データ構造・アルゴリズム実習(2) ●機械工作実習(2) ●デジタル回路実習(2) ●電子回路設計製作実習(4) 	<ul style="list-style-type: none"> ●アナログ回路実習(4) ●マイクロコンピュータ工学実習(4) ●インタフェース製作実習(2) ●組み込みソフトウェア応用実習(2) ●工場内ネットワーク実習(2) ●ファームウェア実習(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ●システム開発実習(2) ●インタフェース製作実習(4) ●複合回路製作実習(2) ●組み込みソフトウェア応用実習(2) ●ファームウェア実習(1) ●組み込み機器製作実習(5) ○企業実習(4) ○総合課題実習(4) ●総合制作実習(12)
一般教育科目	<ul style="list-style-type: none"> ●数学 ●英語 I ●物理 ●保健体育 	<ul style="list-style-type: none"> ●職業社会論 ●法学 ●英語 II ●保健体育 	<ul style="list-style-type: none"> ●工業英語 ●キャリア形成概論 	<ul style="list-style-type: none"> ●心理学

※()内の数字は単位。●:必修科目(出席率が80%以上で評価点が60点以上必要) ○:選択科目(1科目を選択し履修する) 科目は156単位以上を履修する必要があります。

Practical Subjects 実習科目



電子機器組立て実習

電子部品の取り付けや配線、はんだ付け作業など、電子機器の組立て技術を習得します。



デジタル回路基礎実習

デジタルICなどの電子部品の機能や仕組みを学習し、実験を通してLEDやモータ制御回路の設計製作技術を習得します。



情報通信工学実習

LANやインターネットの仕組みについて学習し、通信プログラムの作成と実験を通して情報通信技術を習得します。



インタフェース実習

モータ駆動回路の製作を通して、電子回路の設計から基板製作までの技術を習得します。



マイクロコンピュータ工学実習

マイコンにLEDや各種センサ、モータを接続し、プログラムで制御する技術を習得します。



総合課題実習

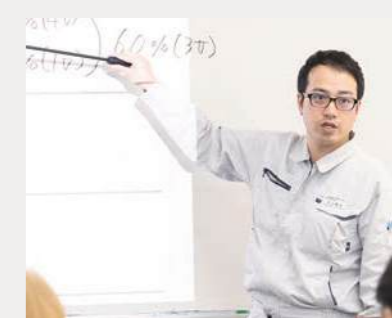
LEDの点灯回路の設計から、点灯パターンを変化させるためのマイコンプログラムの作成をグループで行い、イルミネーション作品を製作します。

Voice of Teacher 先生からのメッセージ

スマートフォンや自動運転、AI(人工知能)など、便利で魔法のような技術は電子情報技術で支えられています。当科はIoT技術を身に付けるため、ハード(装置)・ソフト(プログラム)・ネットワーク(通信)の多岐にわたる要素を学習し、実際にロボット等を製作します。今はまだない“あなたのアイデア”を現実にする技術に挑戦してみませんか!!

学校選びは迷いや戸惑いの連続だとは思いますが、実習の多い当校では手を動かし、経験値を積んで着実にレベルアップ・スキルアップできます。2年後または4年後、あなたがなりたい自分になるために必要な武器(スキルと経験)と一緒に身に付けましょう!

電子情報技術科 永山 晋也先生



生産電子情報システム技術科

Department of Production Electronics and Information Systems Technology

ハードウェア、ソフトウェア、通信ネットワークの知識・技術を深める。

生産電子情報システム技術科では、IoT、ロボット、AI技術などによって支えられるSociety 5.0社会の実現に向けて、複合電子回路、組み込みマイコン制御、セキュアネットワークなどの科目を習得し、組み込み関連技術のニーズに対応できる高度なテクニカルエンジニアを目指します。



Voice of Graduate 修生の声

コミュニケーション、問題発見・解決法等を学びました

堀 悠翔 さん 生産電子情報システム技術科修了(熊本県立東陵高等学校出身)

私は海洋ゴミ運搬ロボットの開発に取り組みました。全体リーダーとして、プロジェクト全体の進捗を管理し、スケジュールを日々調整しました。また、毎朝のミーティングや個人メールを通じて一人ひとりと積極的にコミュニケーションを図り、開発課題の目標達成に向けてチーム全体をまとめました。主な開発内容は、コントローラーを使用したロボットの無線通信制御プログラムの作成です。自分で考え作成したプログラムが現場で期待通りに動作したときは、非常に達成感を感じます。実習などでは課題に直面することもあります。さまざまな情報を収集し、それを自分の知識として吸収することで問題解決に取り組み、多くの学びを得ました。この大学校は、自分で考えてアイデアを出し自由に試行錯誤しながら実験や製作に取り組むことができます。



Curriculum カリキュラム

	3年次	4年次
目標	技能・技術の理解をして課題分析・設計ができる。	
専攻学科	<ul style="list-style-type: none"> 工業技術英語(2) 生産管理(2) 品質管理(2) 機械工学概論(2) 	<ul style="list-style-type: none"> アナログ回路応用設計技術(2) デジタル回路応用設計技術(2) 複合電子回路応用設計技術(2) ロボット機器(2) 通信プロトコル実装設計(2) セキュアシステム設計(2) 組み込みシステム設計(4) 安全衛生管理(2)
専攻実技	<ul style="list-style-type: none"> 機械工作・組立て実習(4) 実装設計製作実習(4) 制御回路設計製作実習(4) センシングシステム構築実習(4) ロボット機器実習(2) 	<ul style="list-style-type: none"> 通信プロトコル実装実習(4) セキュアシステム構築実習(4) 組み込みシステム構築実習(4) 生産管理システム構築実習Ⅰ・Ⅱ(4) 組み込みデバイス設計実習(4) 組み込みシステム構築課題実習(10) 電子通信機器設計製作課題実習(10)
応用		<ul style="list-style-type: none"> 創造的開発技法(4) 経営管理(2) 工業法規(2) 職業能力開発体系論(2) EMC応用実習(4) 電子回路設計製作応用実習(4)
		<ul style="list-style-type: none"> 電子装置設計製作応用課題実習 組み込みシステム応用課題実習 通信システム応用課題実習 ロボットシステム応用課題実習

※()内の数字は単位。

Practice on Standard Assignments 標準課題実習

現場に近い形で、グループで協力して製品を作り上げます。今まで培った技術と技能を応用して課題実習に取り組みます。コミュニケーションスキルやマネジメント手法を実践しながらものづくりの一連の流れを習得します。



組み込みデバイス設計実習

FPGAを用いたデジタル回路の開発フロー、HDLによるデジタル回路設計技法を習得します。



制御回路設計製作実習

電子回路シミュレーション、モータ駆動回路の設計製作、制御プログラミングを通して移動装置の開発技術を習得します。



組み込みシステム構築課題実習

遠隔監視装置をテーマに、IoT機器からセンサデータをサーバに蓄積し、Webから監視する情報システムを構築します。

Development Project Practice 開発課題実習/4年次 — 実践力を養う学生主体のグループワーク

プロジェクトテーマ

『水上ドローン ARIVIA α-miniの開発』

株式会社スペースワンとの共同研究として、リゾートホテルやテーマパークにおいて新たな水上エンターテインメントを実現することを目的に、水上ドローン「ARIVIA α-mini」の開発を行いました。開発した水上ドローンは、4つのスラスタ、LEDドームライト、イルミネーション噴水から構成されます。無線通信で指示される演出シナリオに従って全方向へ航行しながら、ドームライトの点灯色と明るさを調整し、ドーム中央のノズルから水を噴出します。開発にあたっては、機械科が全体設計と下部構造の造形を、電気科がイルミネーションと噴水の制御回路の製作を、電子情報科が演出シナリオの記録・再生システムおよび遠隔操作システムの開発を担当しました。

※「ARIVIA」は、株式会社スペースワンの登録商標です。



在校生の声



私は、水上ドローンの航行演出システムの開発に取り組んでいます。主にコントローラーの操作をPCアプリで受け取り、機体の動作を制御する部分を担当しています。具体的には、操作を記録・編集・再生ができる仕組みを構築し、音楽編集アプリのように時間軸に沿って動きを並べ、噴水や光と合わせたショーのシナリオを編集できるアプリを開発しています。開発過程では、演出動作と機体推進の統合に苦労しましたが、試行錯誤を重ねて完成度を高めています。また、コーディングには生成AIを活用し、意図が正確に伝わるよう、プロンプトの構成と言葉選びのスキルも磨いています。

この大学校では、グループワーク中心の実習が多く、コミュニケーション力と技術が身に付きます。主体的に学ぶほど成長を実感できる、魅力的な学校です。

中原 知香 さん 生産電子情報システム技術科(福岡県 福岡工業大学附属城東高等学校出身)

建築系 Residential

“百工”とは、“各種の職人”を意味し古来より宮大工に伝わる口伝に出てくる言葉です。建築は多くの人が携わり、力を合わせることで成り立っています。多くの人をまとめ上げる人間力は、将来の道に進んでも求められます。ここ九州ポリテクカレッジでは建築に関する知識・技能・技術はもちろん、少人数制を活かしたグループワークや実験・実習で人間力も養います。座学だけで終わらない10年先を見据えた実践学習で1つずつ、確実に身に付けましょう。

建築系の活かせる分野

住宅分野

住宅設計、施工管理、インテリアコーディネーターなどの知識を身に付け住宅分野で活かす。

総合建設分野

実践的な施工管理技術を習得し、総合建設分野で活かす。

不動産・住宅設備分野

設計から施工までを実習し、不動産営業、リフォームアドバイザーとして活かす。

Qualifications 資格

在校中に取得可能な資格

1級建築士 ※専門課程修了後に受験可能 / 2級建築士 ※専門課程修了後に受験可能 / 福祉住環境コーディネーター / インテリアコーディネーター / インテリアプランナー / 建築積算士補
携帯用丸のこ盤安全教育 / 墜落制止用器具特別教育 / 足場組立て等特別教育

在校中に一次試験を受験可能

1級建築施工管理技士 / 2級建築施工管理技士 など

競技会等での活躍

九州ポリテクカレッジでは、毎年、積極的に競技会に参加しています。そして、多くの好成績を残しています。



令和6年度 建築設計競技表彰式にて会長賞を受賞した白石朱麗さん(建築科2年)

建築設計競技で会長賞を受賞

建築科2年生の白石朱麗さんが、令和6年度福岡県内高等学校生並びに専門学校生による建築設計競技において、(公社)福岡県建築士会会長賞を受賞しました。

今回のテーマ「皆のトイレ」に対し、白石さんは「森のヒーリングスペース」を提案。都市部の公園に森の癒やしを感じられる空間を設計し、現代社会で疲れた人々がほっと安らげる場所を表現しました。やさしいタッチで描かれた作品は審査員から高く評価され、表彰式では建築のプロから直接指導を受ける貴重な機会となりました。

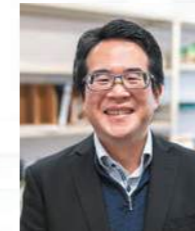
当校建築科では、学生一人ひとりの創造性を大切に育み、実践的な建築教育を通じて未来の建築家を育成しています。

先生からのメッセージ

建築科

専門課程 | 1年次 / 2年次

当校は実際にものを作る環境が整っており、やる気次第で様々なことにチャレンジすることができます。他大学の卒業制作にあたる「総合制作実習」という授業が2年次に通年で行われ、個人または少人数のグループで決めたテーマについて1年間取り組みます。将来を見据えて少し背伸びしたテーマを一生懸命取り組んでほしいと思います。その過程が、各自の様々な成長を促してくれるでしょう。



岡田 健太郎先生
建築科

建築施工システム技術科

応用課程 | 3年次 / 4年次

建築は多くの職種が携わり、協力していくことで成り立っています。当校の応用課程では、リーダーシップやコミュニケーション力などのヒューマンスキルの育成にも力を入れています。当校でヒューマンスキルを養い、多くの職種をまとめることができる施工管理者を目指しませんか。



齋藤 慎一郎先生
建築施工システム技術科



建築科

Department of Architecture



建築物の施工における知識、技能・技術に加え、 ヒューマンスキルを深める。

専門課程では建築に関する設計から施工に至る様々な知識、技術を学び、専門実技科目や総合制作実習を通してコミュニケーション能力、リーダーシップ能力、課題解決能力、マネジメント力、実践力等を養います。実践的なカリキュラムで構成しているため企業からの評価も高く、修了生からは機器の取扱いや仕事の流れ等、ある程度理解した状態で仕事に就くため、他校出身者との差を実感するとの声も聞かれます。

Point 01

建築計画設計

意匠計画、構造計画を中心に設計技術を習得します。

Point 02

建築施工

“管理”の視点をもって施工知識・技術を習得します。

Point 03

実験・実習

座学を裏付ける実験、理解を深める実習に取組みます。

Curriculum カリキュラム

	1年次/1・2期	1年次/3・4期	2年次/5・6期	2年次/7・8期
各期ごとの教育訓練目標	知る 建築空間の概念としくみ 建築の究極的目的である人と生活の器たる建築空間について概念を知る。	学ぶ 建築空間の計画と構成 どのように建築空間を計画しどのように建築空間を構成していくのかについての基本的な専門知識・構法等を学科・実技を通して学び、深める。	考える 建築空間の設計と工法 建築空間のプランニング、コンストラクションの基礎知識を踏まえて、それぞれの領域を広め、深め、考える。	まとめ・提案 建築空間の設計・工法と提案 建築空間の創造に対して学んだことをベースに、建築的な事象・現象について、専門的なまとめ、提案を行う。
学科	<ul style="list-style-type: none"> ● 大学校入門講座(2) ● コンピュータ基礎(2) ● 構造力学Ⅰ(4) ● 建築計画Ⅰ(2) ● 建築構法(2) ● 建築材料Ⅰ(2) ● 安全衛生工学(2) ● 建築法規(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 建築職業概論(2) ● 建築史(2) ● 生産工学(2) ● 建築計画Ⅱ(2) ● 建築材料Ⅱ(2) ● 建築施工Ⅰ(2) ● 建築測量(2) ● 構造力学Ⅱ(4) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境工学Ⅰ(2) ● 構造設計Ⅰ(2) ● 構造設計Ⅱ(2) ● 建築施工Ⅱ(2) ● 施工管理(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 建築設備(2) ● 仕様及び積算(2) ● 構造設計Ⅲ(2)
専門科目	<ul style="list-style-type: none"> ● 基礎製図(4) ● コンピュータ基礎実習(集中)(4) ● 造形実習(集中)(2) ● 基礎工学実験(4) ● 建築施工基礎実習(4) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 建築設計実習Ⅰ(4) ● 施工図実習Ⅰ(集中)(2) ● 建築測量実習(2) ● 建築施工実習Ⅰ(4) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 建築材料実験(集中)(4) ● 建築設計実習Ⅱ(4) ● CAD実習Ⅰ(4) ● BIM実習(2) ● 建築施工実習Ⅱ(4) ● 施工管理実習(2) ● 環境工学実験(2) ● 総合制作実習(8) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 建築設計実習Ⅲ(4) ● 総合制作実習(4) ● CAD実習Ⅱ(2) ● 応用制作実習(4) ● 建築施工実習Ⅴ(2) ● 施工図実習Ⅱ(4) ○ 企業実習(4) ○ 企画実習(4)
一般教育科目	<ul style="list-style-type: none"> ● 数学 ● 英語Ⅰ ● 物理 	<ul style="list-style-type: none"> ● 職業社会概論 ● 法学 ● 英語Ⅱ ● 保健体育 	<ul style="list-style-type: none"> ● 工業英語 ● キャリア形成概論 	<ul style="list-style-type: none"> ● 心理学

※()内の数字は単位。●:必修科目(出席が80%以上で評価点が60点以上必要) ○:選択科目(1科目を選択し履修する) 科目は156単位以上を履修する必要があります。

Practical Subjects 実習科目



建築構法
建物の構成を学び、専門的知識として建物が具体的にどのような材料でどんなふうにつながっているかを学習します。



建築施工実習Ⅰ
木造の課題を製作します。施工図の作成から施工までを行い、必要となる施工管理の技術を習得します。



CAD実習
建築の基礎となる図面やプレゼンテーションを作成するために、2次元CADと3次元CADを学びます。



建築施工実習Ⅱ
鉄筋コンクリート(RC)造の課題を製作します。施工図の作成、施工、施工管理を1年次に比べ、より主体的に取り組めます。



総合制作実習
「住宅空間の提案手法としての模型とVRの比較」
住宅空間の提案手法として、模型とVRを比較検討。立体感や空間把握、施主への伝わり方などの観点から両者の長所・短所を整理し、設計提案への有効性を検証します。



総合制作実習
「モンテッソーリ教育空間の設計・施工」
地域の公共施設を題材に、空間設計から施工、地域連携までを一体的に経験。実際のリノベーションを通じて、建築技術と提案力を養う学生主体の実践型演習です。

Voice of Teacher 先生からのメッセージ

2年次から始まる「総合制作実習」は、自分で選んだテーマに1年間じっくり取り組む実践授業です。
本物の住宅リノベーション、全国設計コンペ挑戦、木造家屋の施工、地域貢献プロジェクト——教科書にはない、リアルな建築体験が待っています。
この実習では、あなたの「やってみよう」という気持ちを大切にしながら、先生がしっかりとサポートしてプロジェクトを考案し実践していきます。一年間、じっくりと経験を積み重ねることで、技術力はもちろん、何より大切な「自分にもできる」という自信を育てることができます。
建築業界で求められるのは技術力と挑戦する気持ち。だからこそ小さな「できた!」を積み重ねて、あなたの可能性を広げていきましょう。
建築科 中山 翔太郎 先生



建築施工システム技術科

Building Construction System Technology



建築施工システム技術科は、
学生が施工管理者(建築の現場監督)に
就くことを目指しています。

建築施工システム技術科は、学生が施工管理者(建築の現場監督)に就くことを目指しています。建物を施工する(造る)には、大きく分けて設計者、施工者(大工をはじめとした職人)、施工管理者の技術が必要です。なかでも施工管理者は、怪我なく安全に・良い品質で・適正な金額及び期間内で・環境に配慮して造るためのいわば指揮者ともいえます。当科では関連知識・施工実習を通して施工管理の視点を学びます。

Voice of Graduate 修生の声

関係するすべての人が満足いく工事現場をマネジメントしていきたい

宮田 正明さん 建築施工システム技術科 修了(沖縄県立那覇国際高等学校出身)

私は現在、総合建設業(ゼネコン)で施工管理業務に携わっています。仕事内容は複合商業施設で工事の計画や安全・品質・工程管理などを行う施工管理、商業施設のメインとなる鉄骨・外装工事が主な担当で毎日を安全に管理することが私のミッションです。建築施工システム技術科での授業や実習は将来必ず役に立ちます。在校中からの資格取得や就職活動にも熱心に協力してくれる先生や環境が整っています。特に建設業界の施工管理で活躍したい人にはとてもおすすめできる環境です。



Curriculum カリキュラム

	3年次		4年次		
目標	技能・技術の理解をして課題分析・設計ができる。		課題に対する提案と開発を行い、報告書作成と発表ができる。		
専攻学科	工業技術英語(2) 時事英語(2) 応用構造力学(4) 施工法詳論(2) 応用建築概論(2)	施工関係法規(2) 安全衛生管理(2)	建築生産管理(2) 建築経営(2) 創造的開発技法(4) 職業能力開発体系論(2) 環境・資源エネルギー(2)	工学概論(2) 建築生産論(2) 構造解析(2) 設備施工管理(2) 建築生産環境論(2)	維持保全(2)
専攻実技	内装施工実習(4) 鉄筋コンクリート構造施工課題実習(8) 木質構造施工課題実習(8) 施工図書実習Ⅰ(4) 施工図書実習Ⅱ(4) 建築ドキュメントワーク実習(2) 建築生産情報処理実習(4)	基礎構造物設計実習(4) 仮設施工計画実習(2) 鉄筋コンクリート構造施工管理課題実習(6) 木質構造施工管理課題実習(6) 鋼構造施工管理課題実習(6) 安全衛生管理実習(2)	木質構造実験(2) 施工実験(4) 施工積算実習(2) 鋼構造実験(2) 山留め・構台施工実習(4)		

※()内の数字は単位。

Practice on Standard Assignments 標準課題実習

現場に近い形で、グループで協力して製品を作り上げます。今まで培った技術と技能を応用して課題実習に取り組みます。コミュニケーションスキルやマネジメント手法を実践しながらものづくりの一連の流れを習得します。



木質構造施工管理課題実習

木造在来軸組構法の住宅を施工します。各種伏図・加工図を作成し、材の加工、建て方作業、施工管理を主に行います。



鉄筋コンクリート構造施工管理課題実習

小規模の鉄筋コンクリート構造の建物を施工します。各種施工図書の作成と、型枠・鉄筋の加工・建込み・配筋を行い、その工程を管理します。



鋼構造施工管理課題実習

小規模鉄骨造の建物を施工します。溶接・高力ボルト接合と施工管理を主に行います。

Development Project Practice 開発課題実習/4年次 ——実践力を養う学生主体のグループワーク

プロジェクトテーマ

『プレキャスト(PCa)コンクリート工法の施工・施工管理』

3年次の標準課題(RC構造)では、典型的なラーメン構造をいわゆる在来工法にて取り組みます。具体的には、提示された設計図書をもとに施工図を起こし、各種検査表・作業手順書を作成し、施工実習・施工管理実習を行います。本開発課題では、プレキャスト(PCa)コンクリート工法に取り組みました。RC造の工法は現地において型枠・鉄筋を組む在来工法が主流であり、大きな技術的進歩の少ない分野です。その中で、本プレキャスト(以下、PCa)工法は、工場にて型枠・配筋・打設を行い、現地ではPCaコンクリートをクレーンで吊り、接合部のみを型枠・配筋・打設を行うため、工期短縮に効果のある工法です。さらには、工場生産により高品質の躯体を製造できる長所もあります。本開発課題を通して、標準課題で得たRC造施工・施工管理手法からのさらなる向上につながり、将来の施工管理職に生かされます。



在校生の声

開発課題では、プレキャスト(PCa)コンクリート工法について図面作成から施工と施工管理を行っています。標準課題で得た知識や施工技術を活かしてより難易度の高い施工を行うこと、また、メンバーと協力しながら試行錯誤を繰り返して、完成を目指して工程を進めていくことにやりがいを感じます。そして、施工管理者に就く身としてQCDS(品質・原価・工期・安全・環境)を意識しながらより良い方法を模索し、効率よく作業を行っているように日々努力しています。

安楽 幸宏さん 建築施工システム技術科(鹿児島市立鹿児島商業高等学校出身)



キャリア支援プログラム

キャリア支援室は、安心して就職に向き合えるよう、各種の支援プログラムを用意しています。また、各担任と連携をして、学生一人ひとりの適性に合わせてきめ細かに就職活動をサポートします。

Schedule (就職ルールの改定などにより、変更する場合があります)

	4~6月	7~9月	10月	11月	12月	1・2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
就職動向	■企業情報収集 ■インターンシップ参加	■自己分析 ■業界・職種・企業研究		■筆記試験対策 ■適性検査 ■一般常識		■エントリーシート ■履歴書作成	■面接対策 ■自己PR ■模擬面接		■企業広報活動開始 ■会社説明会など			■企業選考活動開始 ■面接・選考など	
学生活動スケジュール	就職サイトへの登録 インターンシップ	自己分析 業界・企業・職種研究情報収集		エントリーシート・履歴書・適性・SPI検査対策				面接対策 会社説明会・セミナー参加			筆記試験・面接 内々定		
就職支援プログラム		就職ガイダンス 進路希望調査 SPI受検会 企業訪問(求人開拓)	SPI対策講座・就職対策講座	業界研究セミナー ジョブ・カード作成 就職相談(ES・履歴書添削・面接指導等)	学内合同企業研究会								
	インターンシップ参加学生支援 科毎個別面談(就職動向把握)		就職個別指導(インターンシップ等参加動向・希望業種・企業等把握)		求人票発送	求人票受付・掲示							

POINT 1 個別キャリア支援によるサポート

キャリア支援アドバイザー及び担任が、学生一人ひとりの個性・特徴を捉え、手厚くフォローします。



自己分析



進路相談



面接指導




応募書類添削



個別進路相談


POINT 2 全員参加型プログラムによるサポート

- 

インターンシップ準備支援
インターンシップに行くための準備講座や地元企業の紹介等の支援を行います。
- 

就職ガイダンス
就職ガイドブックを配布し、就活準備についてキャリア支援担当より説明を行います。
- 

SPI模擬テスト受検セミナー
SPIの模擬テストにトライし、自分の実力を理解するとともに、SPIや他の適性検査の特徴などについて学びます。
- 

学内合同企業研究会
ブース訪問形式の合同企業研究会を学内で実施します。40~50社の企業に参加いただき企業担当者から直接企業について学ぶことができます。
- 

ジョブ・カード作成支援
ジョブ・カードを利用したキャリアプランニングを作成し将来のキャリア形成に役立ちます。
- 

業界研究セミナー
企業の方を講師に招き、業界の歴史や特徴、展望について、また実際の仕事内容やその業界が求める人材像などについて学びます。





就職ガイダンス




業界研究セミナー

POINT 3 希望者参加型プログラムによるサポート


- 

SPI対策講座
就職試験で多く利用される適性検査(SPI)の非言語分野の対策講座を実施します。
- 

就職対策講座
就職活動において欠かせない、自己分析・企業研究・書類作成などカテゴリ別に詳しい手法や対策を学ぶ講座を実施します。
- 


学外合同企業説明会
就職活動支援企業主催の合同企業説明会に専門課程・応用課程1年生全員で参加します。

夢への第一歩。企業が求める3つの人間力




考える力
洞察力・問題解決力

座学で学んだことを実習で活かし、実習で学んだことを座学でフィードバックする。1年次から徹底しているこの学習スタイルは、学生一人ひとりが深く考察し、課題解決へ臨む力を伸ばします。



伝える力
コミュニケーション力

少人数体制の授業の中では、グループワークを豊富に取り入れています。学生主体で企画し、課題に取り組むことで、より柔軟で視野の広い人間性を育成。ものづくりを完成させるという継続力と集中力を習得します。



行動力
継続力・集中力

授業・実習時間の豊富さは、一般的な国立大学工学部と比較しても2倍近く。課題に取り組みながらも、技術を競い合う全国コンテストに挑戦する学生も多く、ものづくりを完成させるという継続力と集中力が、自然に身に付きます。

POINT 4 キャリア支援室からのメッセージ

安心して就職活動ができるようにサポート

九州職業能力開発大学の進路指導は、各担任の先生とキャリア支援アドバイザーが協力して学生の支援にあたります。学生が持つ特性やスキルを十分に発揮して就職活動ができるよう、一人ひとりに向き合ったサポートができる体制が整っています。



キャリア支援アドバイザー
高田 さやかさん



修了生・内定者メッセージ

社会で、世界で、活躍する修了生、
社会に巣立つ先輩たちからのメッセージです。

修了生インタビュー



[就職先]
トヨタ自動車九州株式会社

機械系

金型製作を主に担当しています。苦勞して製作したものが完成したときにやりがいを感じています。将来の夢は、職場一のエンジニアです。そのために業務を確実にこなす、技能検定にも挑戦しています。日頃から物事に対して疑問をもって過ごしてみてください。すると興味があるものが見つかり、自分のやりたいことに繋がります。やりたいことが決まったらぜひ挑戦してみてください。

峰松 寛さん
生産技術科 令和2年度修了
(鹿児島県 神村学園高等学校出身)



[就職先]
協和機電工業株式会社

電気系

上下水道施設の稼働状況に関するデータを元的に管理・記録し、設備診断を常時可能にするシステムの維持管理を主にしています。将来の夢は、業務を一人でもこなせるようになり、部門になくならない存在になることです。九州職業能力開発大学校は大変なことも多いですが、学んだことは仕事でも役に立っています。進路の選択肢の一つに入れてみてはいかがでしょうか。

三浦 良輔さん
電気エネルギー制御科 令和4年度修了
(長崎県 長崎南山高等学校出身)



[就職先]
BMテック株式会社

電子情報系

産業用モータの製造・販売を行っています。業務内容としては顧客からの技術相談や見積り対応、受注処理となります。将来の夢は、職場の方々から信頼される人間になることです。働いてすごく楽しいと思える良い会社へ入れたのも、実用的な授業が多いこの大学校だからこそだと思います。実践的な知識を身に付けたいなら、九州職業能力開発大学校をぜひご検討ください。

漢那 拓実さん
電子情報技術科 令和2年度修了
(福岡県立門司学園高等学校出身)



[就職先]
昭和建設株式会社

建築系

「実施設計」という業務に就いています。お客様と打合せをして決めたプランを法律や構造計算に適合するか検討して、より詳細な図面を作成し、着工するための手続きを行っています。将来の夢は、建築士免許を取得し、建築業界で幅広く活躍できる人材になることです。この大学校は座学はもちろん、実技や実習、設備も充実していて、比較的安価な学費も魅力です。

木田 ゆみさん
建築科 令和4年度修了
(福岡県 敬愛高等学校出身)

内定者インタビュー



[内定企業]
ルーム・アポロ株式会社

機械系

内定を獲得できた要因としては、企業説明会に複数回参加したことはもちろんですが、面接時に自分の意志表示をしっかりと示した点だと思います。また、表情を明るくはきはきとしゃべるなどの点もよい評価をいただけたことに繋がったと思います。将来は半導体業界を通じて社会貢献できる人材になりたいです。九州職業能力開発大学校では様々な実習を行うので、実践的な技術を学ぶことができ、モノづくりにおける多くの知識をつけることができるので、モノづくり業界に興味のある人におすすめの学校だと思います。

松島 由磨さん
生産機械技術科 2年
(福岡県立小郡高等学校出身)



[進学] ※電気エネルギー制御科は全員進学です。
応用課程
生産電気システム技術科

電気系

応用課程への受験に向け、試験項目についての復習と面接対策をしっかりと行いました。技術的なことは教科書やweb等を用いて調べました。1年生の内容の復習を深掘りすることができ、より一層学びを深められたと思います。九州職業能力開発大学校は先生方の指導が手厚く、わからなくなった時には気軽に質問することができるので、すぐに問題が解決できます。日頃からコツコツと勉強をして努力を積み重ねていけば、合格・内定を勝ち取ることができるのではないのでしょうか。

中山 晃忠さん
電気エネルギー制御科 2年
(福岡県立北九州高等学校出身)



[内定企業]
東テック株式会社 九州支社

電子情報系

就職活動を進めるときに大切だと感じたことは、「自分の強みを理解すること」と「周りの先生方や学務課のアドバイザーの方に困ったことを相談すること」です。自分の強みを理解した上で相談することによって、アドバイザーの方から自分に合った企業の紹介や就職のサポートがありました。就職活動を進めるにあたって誰かに相談すると、安心して活動を続けられると思います！

岩本 諒仁さん
電子情報技術科 2年
(福岡県 福岡工業大学附属城東高等学校出身)



[内定企業]
株式会社志田組

建築系

インターンシップには積極的に参加し、企業の方々と多くコミュニケーションを取る中で、業務の流れや社風を深く理解することができました。常に「自分がどう貢献できるか」を意識し、疑問に思ったことは遠慮せず伝えることで、信頼関係を築くことができたと感じています。また、企業が求める人物像を意識し、それに沿った行動を心がけたことが、内定へと繋がった大きな要因だと思います。

成合 紘久さん
建築科 2年
(宮崎県立佐土原高等学校出身)



[内定企業]
西部電機株式会社

機械系

内定を獲得できた要因は、早い段階から企業説明会やインターンシップに参加し、携わりたい業種を明確に定めることができたことに加え、その業種に関連する企業について十分に調査できた点にあります。九州職業能力開発大学校では、座学と実習が充実しており、座学で学んだ内容を実習で活かすことで、技術を身に付けることができます。開発課題実習では、他学科との共同作業が多く、コミュニケーションを取る機会が豊富にあります。そのため、自然とコミュニケーション能力を養うことができます。このように、専門的な知識や技術だけでなく、社会人として必要なコミュニケーション能力も向上できる点が大きな魅力です。

岩崎 拳士さん
生産機械システム技術科 2年
(福岡県立北九州高等学校出身)



[内定企業]
安川オートメーション・ドライブ株式会社 行橋本社

電気系

内定を獲得できた一番の要因は、自分が企業にどのように貢献できるかを明確に伝えられたことだと思います。授業や実践的な課題を通して培った技術力や知識、そして新しいことに積極的に挑戦する姿勢は、面接でも大きな強みになりました。また、先生方の丁寧なサポートや仲間との切磋琢磨があったからこそ、大きく成長できました。この学校には、実践的な学びの機会が多いので、ぜひ入学して体験してみてください。

万福 悠士さん
生産電気システム技術科 2年
(鹿児島県立武岡台高等学校出身)



[内定企業]
株式会社バッファロー

電子情報系

勉強やサークル活動、アルバイト、趣味など、学生のうちに友達とたくさん思い出を作って、充実した学生生活を送ってください。校外活動やアルバイトは、面接で話せる貴重な経験になります。就職活動では、早めの行動が大切です。余裕を持って企業研究や自己分析、面接対策を進めることをお勧めします。

松永 功望さん
生産電子情報システム技術科 2年
(大分県立中津北高等学校出身)



[内定企業]
三井ホーム株式会社

建築系

説明会やインターンシップを通して企業研究を行い、志望動機をあげたことが内定へと繋がったと思います。また、この大学校の強みである実践的な実習の経験が面接や、ポートフォリオで幅が広がりました。将来は会社や現場の方々、お客様から信頼される人材になることを目指します。在学中に建築士などの資格取得を目指すことができるので、勉学に励んで頑張ってください。

山口 環さん
建築施工システム技術科 2年
(大分県 大分東明高等学校出身)

就職実績

令和6年度
[2025年3月修了生]

学生全員が学んだ専門分野に関連する仕事に就職しています。

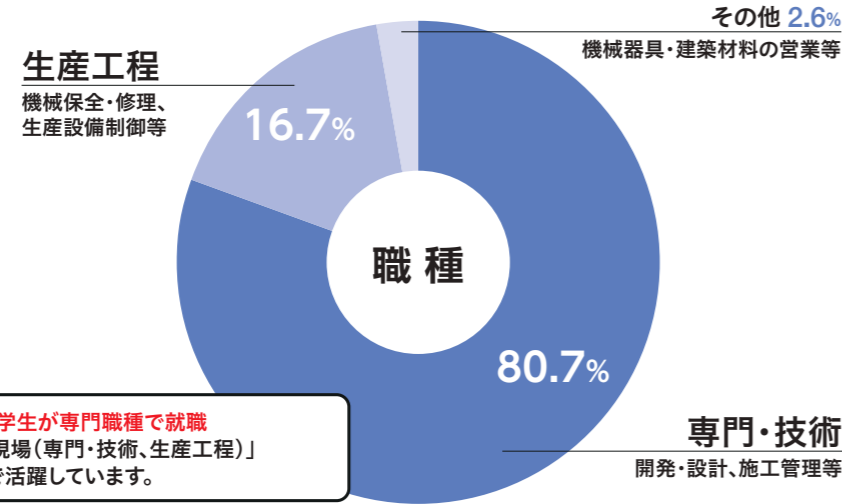
※当校の「就職率」については、「修了者数-進学者数」を分母とした就職率(実就職率)で示しています。ほとんどの教育機関で採用されている「就職希望者数」を分母とした就職率より実態に近い数値です。

8年連続
“実”就職率100%
(2018~2025年3月修了生実績)
97%関連職種に就職

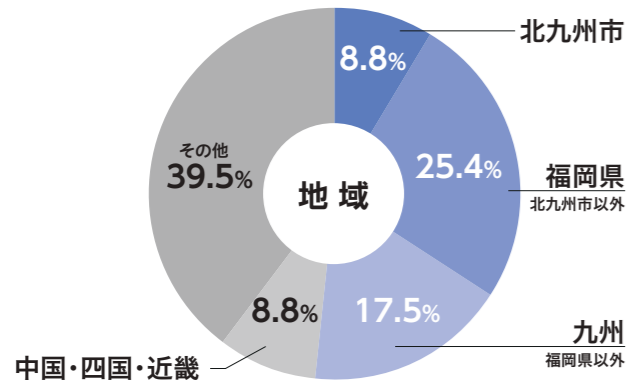
修了生の
活躍はこちら



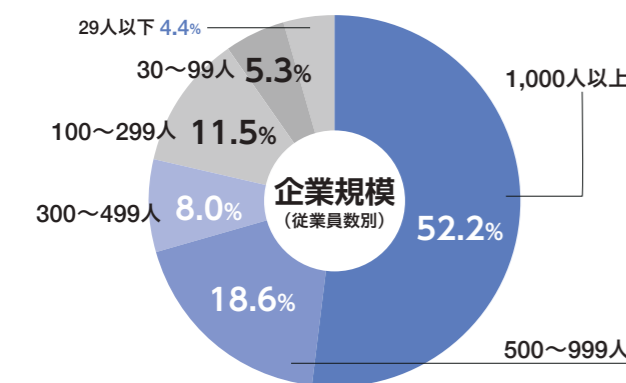
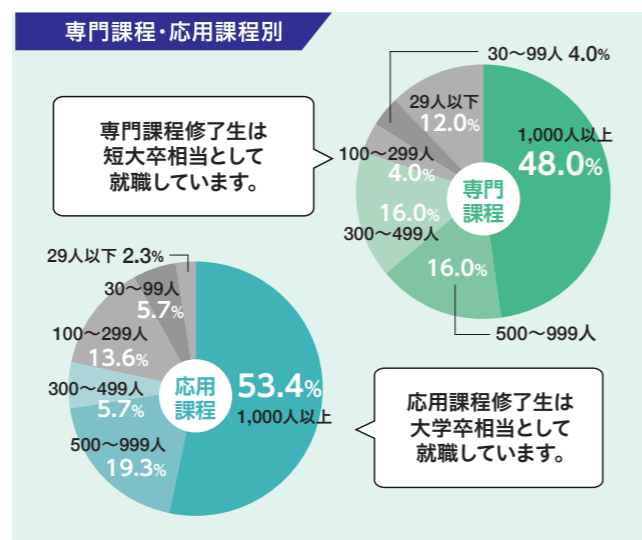
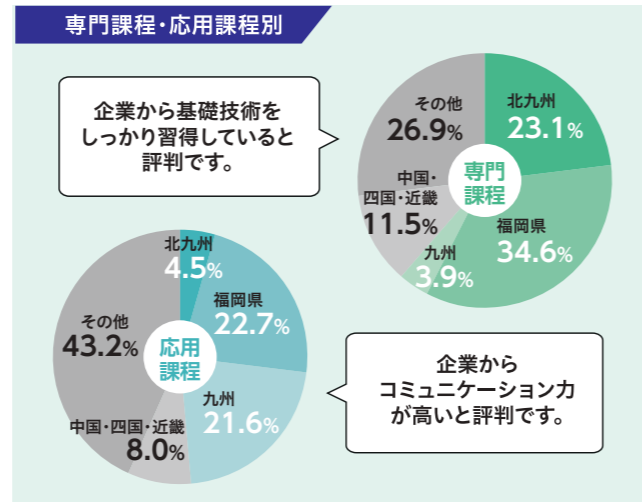
職種・地域・企業規模で見る割合



97%の学生が専門職種で就職
「ものづくり現場(専門・技術、生産工程)」
で活躍しています。



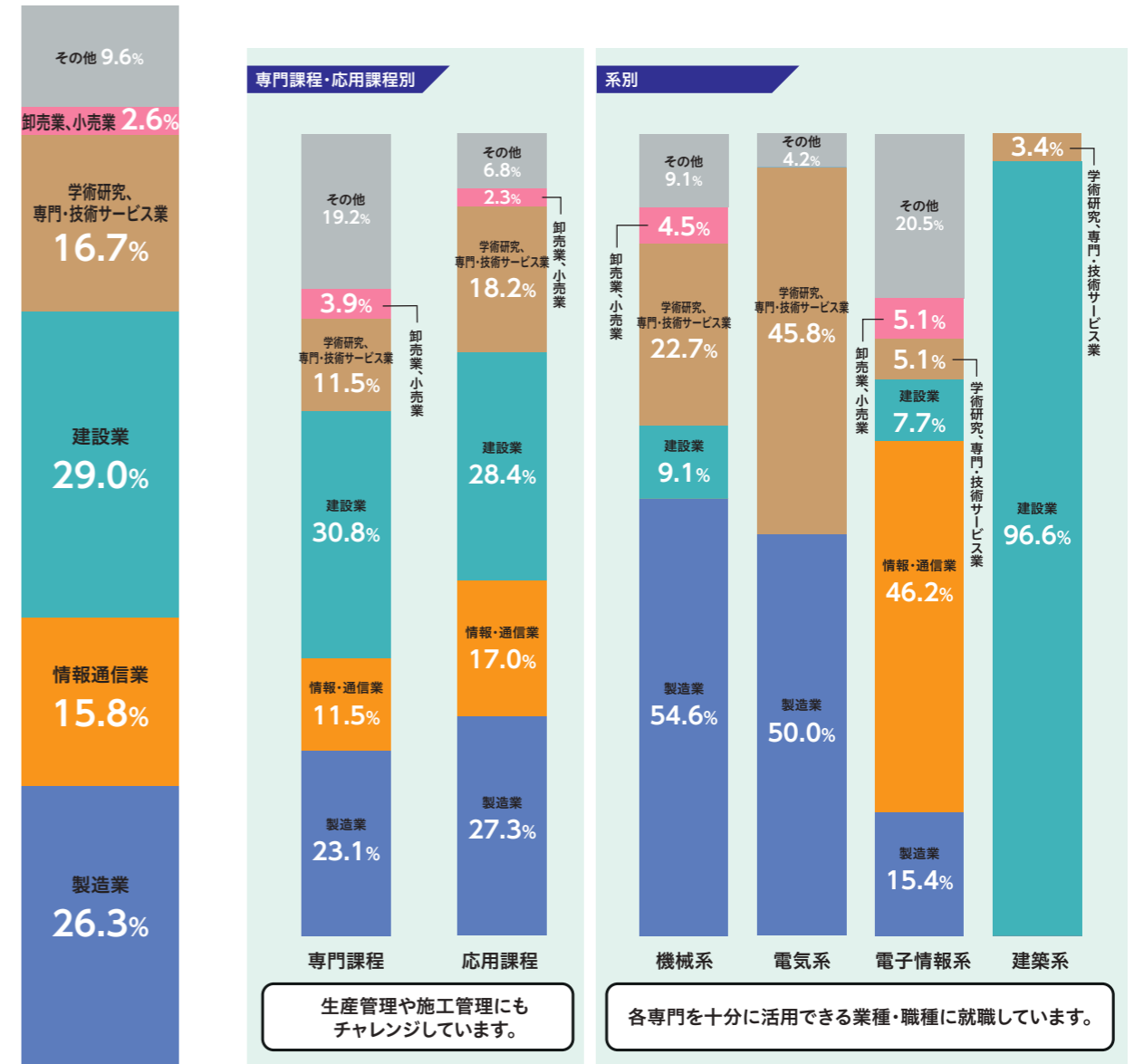
50%超の学生が九州で就職
地元での就職も可能です。



80%弱の学生が従業員数300人以上の企業へ入社
しっかりした基礎と実践力を持っていると
評価されています。

業種で見る割合

当校で学んだ知識を活かし、各分野の仕事に柔軟に対応しています。



生産管理や施工管理にも
チャレンジしています。

各専門を十分に活用できる業種・職種に就職しています。

夢への第一歩。企業が求める3つの人間力

考える力 洞察力・問題解決力

座学で学んだことを実習で活かし、実習で学んだことを座学にフィードバックする。1年次から徹底しているこの学習スタイルは、学生一人ひとりが深く考察し、課題解決へ臨む力を伸ばします。

伝える力 コミュニケーション力

少人数体制の授業の中では、グループワークを豊富に取り入れています。学生主体で企画し、課題に取り組むことで、より柔軟で視野の広い人間性を育成。ものづくりに欠かせないコミュニケーション力を習得します。

行動力 継続力・集中力

授業・実習時間の豊富さは、一般的な国立大学工学部と比較しても2倍近く。課題に取り組みながらも、技術を競い合う全国コンテストに挑戦する学生も多く、ものづくりを完成させるといった継続力と集中力が、自然に身に付きます。

緑に囲まれた 静かな環境

北九州市の南、緑に囲まれた落ち着いた環境の中にキャンパスがあります。広々とした敷地に、学びを支える校舎があり、それぞれ屋根付きの通路で結ばれているので、雨の日も濡れずに移動ができます。駐車場、駐輪場もあるので、車やバイク、自転車での通学も可能です。

- A棟** 事務棟
医務室・総務課・援助計画課
- B棟** 教室棟
学務課・キャリア支援室
- C棟** 電子情報系実習棟
1F 図書室
- D棟** 電子情報系実習棟
- E棟** 電気系実習棟
- F棟** 機械系実習棟
- G棟** 機械系実習棟
- H棟** 建築系実習棟
- I棟** 建築系実習棟
- J棟** 機械系実習場
- K棟** 機械系実習棟
- L棟** 電気系・建築系実習棟
- M棟** 建築系実習棟

The campus map features several key areas and buildings:

- 学生寮** (Student Dormitory): Located at the top right.
- 図書室** (Library): Located at the top right, with an inset photo showing bookshelves.
- 中庭** (Courtyard): Located in the center.
- コミュニティ広場** (Community Plaza): Located in the center, with an inset photo showing a paved area with trees.
- 正門** (Main Gate): Located at the bottom center.
- 体育館** (Gymnasium): Located on the left, with an inset photo showing the interior.
- 食堂・学生ホール** (Dining Hall/Student Hall): Located on the left, with an inset photo showing tables and chairs.
- 駐車場** (Parking Lot): Located on the left, with an inset photo showing parked cars.
- Buildings A-M:** Various colored buildings representing different departments and labs, each with an inset photo.

実践力教育を支える 充実の最先端設備・実習環境

広々とした実習室、実習棟には実際の現場で使用されている設備・機器類が揃っています。実際の現場さながらの環境で、就職してからすぐに役立つ知識や技術を身に付けます。



機械系実習棟 (F・G・J・K棟)

実際の現場で使用されている様々な機器類を完備。多くの機器類の操作を経験し、実際の現場で役立つ技術を身に付けます。



電気系実習棟 (E・L棟)

実際の現場で使用されている電気機器類が揃っており、現場と同じ作業を行うことができます。

最新の設備・機器で、最先端の学びを



教室棟 (B棟)

講義室、視聴覚室、キャリア支援室など、学生生活を支える施設が揃っています。



食堂、体育館

学生の胃袋を支える食堂と、授業やサークル活動に使用する体育館があります。



電子情報系実習棟 (C・D棟)

電子系機器類の組み立て作業を行える広い作業台と、制御回路・設計を行うハイスペックのパソコンを完備しています。



建築系実習棟 (H・I・L・M棟)

実習棟では、実際に木造やRC造の構造物を作ることが可能！実際の現場の作業手順を身に付けます。建築CADに対応したパソコンも備えています。





EVENTS

4 April

入校式、オリエンテーション、授業(前期)開始



5 May

新入生歓迎会



6 June

学校説明会



7 July

応用課程一般入試 集中実習
キャンパス見学会



8 August

キャンパス見学会 授業開始



9 September

前期試験

若年者ものづくり競技大会
高等学校や職業能力開発施設などで技能を習得中の20歳以下の学生を対象とした、技能競技大会。九州ポリテクカレッジの学生も毎年参加しています。

10 October

専門課程推薦入試 (専門・総合学科)

集中実習、インターンシップ、授業(後期)開始

11 November

キャンパス見学会



専門課程推薦入試 (全学科Ⅰ)

親子ものづくり体験教室



12 December

専門課程推薦入試 (全学科Ⅱ)

冬休み

近隣の小学校から大勢の子どもたちが参加。「ものづくり」を楽しんでいます。

1 January

2 February

専門課程一般入試
学年末試験



「ものづくり」に関する高度な実践的教育訓練や、研究開発の成果を競う、技術力コンテスト。九州・沖縄の学生たちが多数参加し、企業や学校にも注目されています。

技能照査
ポリテックビジョン



3 March

総合制作発表会
開発課題発表会
修了式
キャンパス見学会



春休み

CIRCLE



バスケットボール

毎週月曜日と木曜日に学校の体育館で活動しています。このサークルの良いところは、学年を越えて楽しく参加できること!
バスケット好きは体育館へ(あっ、靴を忘れずに)。



バレーボール

経験の有無や性別なんて関係なく活動しています(毎週火曜&金曜)。バレーボール好きの貴方を待っています。
仲良く&楽しい⇒アットホームなサークル!



バドミントン

毎週水曜は「バドの日」だよ。初心者から経験者まで幅広いメンバーで、未経験者には優しく指導しながら活動しています。
バドミントンは誰でも気軽に楽しめる!



軽音楽

サークル内でバンドを組み、曜日を決めて楽しんでいます。機材&音楽を楽しむ心は揃っているので、後は貴方の参加を待ってだけ!
一緒に演奏を楽しみましょう。



ボランティア

2016年に結成(気が付くと「10年」ダァ〜!)。地域の子供達や高齢者との交流、温かい地域社会実現が目的のコンサート等々が活動内容です。
今しかできない経験を一緒に楽しもうよ!



学生自治会

学内イベントの企画・運営が主な活動です。特に、毎年11月の「煌技祭」は学内で最も盛り上がるイベントで、地域の方々も楽しめるよう準備しています。
九州能開大で学生生活を一緒に楽しもうよ!

2025年度は、右記のサークルも活動しています。

- ・Circuit Club: 電子回路設計や基板設計を行っています。11月のものづくり体験教室も参加しました。
- ・TRGPサークル: プレイヤーがテーブルを囲んで会話しながら遊ぶロールプレイングゲームです。
- ・釣りクラブ: 自然(きれいな景色や新鮮な空気)を感じながらリフレッシュできます。

Apartment

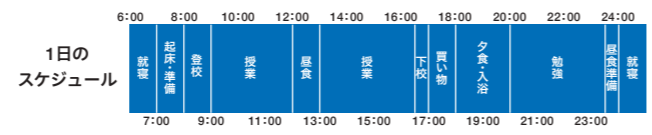


北九州は美味しいものがたくさんあり、買い物も楽しめます。

アパートの学生

初めての一人暮らしを楽しんでいます。

電気エネルギー制御科(福岡県出身) 大塚 宏太郎
 高校3年生の夏に担任の先生の勧めで電気エネルギー制御科を受験しました。将来の夢は、まだ大まかにしか決まっていらないのですが、様々なことを学んで、資格を取得し、社会に貢献できる職業に就きたいと考えています。中学から高校までは寮生活をしましたが、九州職業能力開発大学校からは1人暮らしをすることを決めました。全てのことを自分でやらなければなりません、とても楽しい生活を送っています。



Home

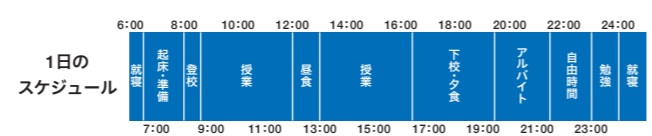


サンリブシティ小倉に行くことが多いです。モノレール1本で行ける小倉駅周辺も色々なお店がありおすすめです。

実家から通学

自宅からの公共交通機関の便が悪く、車しか選択肢が無かったので、車通学しています。

電子情報技術科(福岡県出身) 東 奈月
 情報系を学べる学科を志望しており、専門的な授業や実習の多さ、就職率の高さに魅力を感じ、また家から通える範囲だったので進学先を選びました。将来の夢はまだ漠然としか決まっていらないので、様々なことを学びながら、したいことを見つけていきたいと思っています。専門性の高い授業や実習を通して自分のスキルアップをすることができています。私は普通科高校出身でついていけるか不安でしたが、友達のを借りたりしながら楽しく学んでいます。



Dormitory

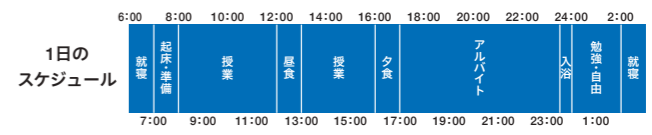


八幡西区にあるGON助のから揚げがおすすめです。友達の親が経営しています。

男子寮

学校から近いのが一番!

生産機械技術科(佐賀県出身) 正木 克征
 工業高校(機械科)で学んだ知識・技術を活かし、さらに専門的な知識を深く身に付けるため、九州職業能力開発大学校に進学しました。実家から通うには距離的にも厳しく、経済的にも余裕がなかったため、入寮を決めました。寮は費用が安く、3食の食事も付いているので生活面での負担が軽く、とても助かっています。なにより、学校までの距離が近く、毎日の登校がとても楽にできる点は、寮生活の最大の魅力です。全体的に過ごしやすい環境が整っており、安心して学業に取り組むことができます。



Dormitory

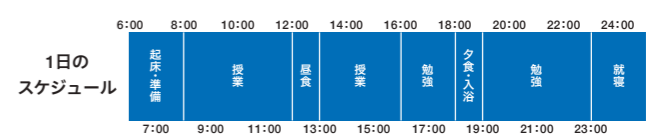


小倉北区にある「21時にアイス」というアイス専門店によく行きます。

女子寮

セキュリティ面でも安心です。

建築科(福岡県出身) 井原 京香
 建築関係の仕事に就きたいと思っていたので、ものづくりを“0”から学ぶことができ、実技・実習を重視したカリキュラムと実社会で必要な力を学べる九州職業能力開発大学校建築科へと進学しました。寮を選んだ理由は、自宅からの通学に時間がかかるため、その時間を有効に利用して学業に専念できる最適な場所だと考えたからです。寮では朝・昼・夕の食事がついてるので健康面はもちろん、寮は学校の敷地内にあり、夜間は舎監さんがいてくださるのでセキュリティ面でも安心です。



学生相談室(ホッと暖話室)のご案内

悩みや不安・困ったことがあった時、気軽に相談してみようかな



学生相談室(ホッと暖話室)
 月・水・金曜日の午後
 (事前の予約が必要です)



男子寮・女子寮
 月額約51,500円
 (光熱費・食費込み)
 (料金は変動する場合があります)
 男子寮63室/女子寮30室
 身障者用(男女各1室)
 ※全室個室10.25㎡(6畳程度)
 標準装備 ベッド・机・いす・収納棚・クローゼット・エアコン
 ※インターネット接続可能(別途契約が必要です)
 共同設備 お風呂・トイレ・洗面・洗濯室・食堂

入試情報 (令和9年度)

入試制度の詳細はホームページよりご確認ください。



募集科及び定員

募集科	定員	合計 95名
生産機械技術科	25名	
電気エネルギー制御科	20名	
電子情報技術科	25名	
建築科	25名	

推薦入試

(専門学科・総合学科対象)

応募資格	学校教育法による国公立高等学校(中等教育学校を含む)で、職業に関する学科もしくは総合学科を令和9年3月卒業見込みの者で、在学校長の推薦を受けられる者。
試験日	令和8年10月17日(土)
募集科	生産機械技術科、電気エネルギー制御科、電子情報技術科、建築科(4科)
試験地	北九州市(九州職業能力開発大学校)
合格発表	令和8年10月29日(木)

推薦入試

(全学科対象Ⅰ)

応募資格	学校教育法による国公立高等学校(中等教育学校を含む)で、在学校長の推薦を受けられる者。学科の如何は問いません。
試験日	令和8年11月14日(土)
募集科	生産機械技術科、電気エネルギー制御科、電子情報技術科、建築科(4科)
試験地	北九州市(九州職業能力開発大学校)
合格発表	令和8年11月27日(金)

推薦入試

(全学科対象Ⅱ)

応募資格	学校教育法による国公立高等学校(中等教育学校を含む)で、在学校長の推薦を受けられる者。学科の如何は問いません。
試験日	令和8年12月12日(土)
募集科	生産機械技術科、電気エネルギー制御科(2科)
試験地	北九州市(九州職業能力開発大学校)
合格発表	令和8年12月22日(火)

一般入試

応募資格	学校教育法による高等学校を卒業した者(卒業見込の者を含む)または、これと同等以上の学力を有すると認められる者。
試験日	令和9年2月10日(水)
募集科	生産機械技術科、電気エネルギー制御科、電子情報技術科、建築科(4科)
試験地	北九州市(九州職業能力開発大学校)、福岡市、佐賀市、長崎市、大分市、熊本市、宮崎市、薩摩川内市
合格発表	令和9年2月22日(月)

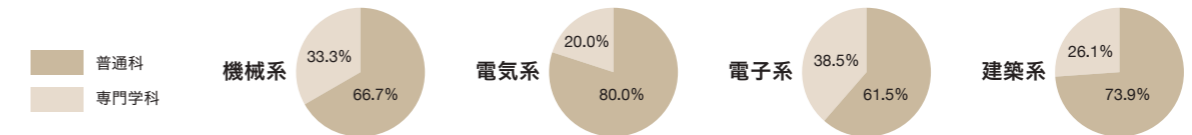
社会人推薦入試

※就業経験者限定の推薦入試です。

応募資格	就業経験を有し、学校教育法による高等学校を卒業した者または、これと同等以上の学力を有すると認められる者。
試験日	令和8年11月14日(土)
募集科	生産機械技術科、電気エネルギー制御科(2科)
試験地	北九州市(九州職業能力開発大学校)
合格発表	令和8年11月27日(金)

※詳細については募集要項をご覧ください。

出身学科別入校者割合(令和7年)



県別入校者数(令和元年～令和7年)

～ 専門課程 ～

福岡県	375人
佐賀県	30人
長崎県	52人
大分県	44人
熊本県	44人
宮崎県	86人
鹿児島県	79人
山口県	23人
その他の県	28人
(参考) 応用課程	681人



入学時に必要な授業料等

	専門課程	応用課程	
入校料	169,200円	112,800円	※左記金額は令和7年度入学時のものです。 ※授業料(390,000円)は前期と後期に2分割での納入となっています。授業料前期(195,000円)は4月末まで、授業料後期(195,000円)は10月末までにお振込みいただきます。 ※教科書・実習服・工具類などは、科によって異なります。
授業料(前期分)	195,000円	195,000円	
教科書・実習服・工具類など	43,000円～120,000円	40,000円～70,000円	
訓練生総合保険(2年分)	15,850円	15,850円	
学生自治会費(2年分)	20,000円	20,000円	
同窓会費(永年会費)	3,000円	3,000円	
合計	446,050円～523,050円	386,650円～416,650円	

【ご紹介】4つの経済的支援

入校料延納措置

入学前の3月末までに納付いただく必要がありますが、経済的理由により延納申請を行い、カレッジから承認を得られた方については、指定の期日まで納付期限が延納される制度になります。

入校料:169,200円(予定)

授業料等減免制度

住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生を対象に、入校料・授業料の免除または減額を行う制度になります。

減免額(区分)

第Ⅰ区分入校料・授業料の全額免除
第Ⅱ区分入校料・授業料各2/3免除
第Ⅲ区分入校料・授業料各1/3免除
多子世帯入校料・授業料の全額免除

技能者育成資金融資

公共職業能力開発施設に通学する学生を対象に、成績と収入の状況を審査のうえ、授業料などに充てる資金を労働金庫を通じて融資する制度になります。

利率:有利子・年2%

授業料分納・延納

授業料を分納・延納したいという方に対してもサポート体制を完備! 支払回数及び支払日をご自身で事前に計画することができます(上限納付期限はあります)。

Q&A

Q 一般の大学とはどう違うのですか？

A 当校は専門的な技能・技術を備えた実践技術者を育成するための教育訓練施設です。
一般の文部科学省の大学ではなく、厚生労働省所轄で、職業能力開発促進法に基づき設立されています。このため「大学」ではなく「大学校」という名称になっています。

Q 普通科の高校生でもついていけますか？

A 普通科出身でも大丈夫です。
当校では「ものづくり」を基礎からしっかり学ぶカリキュラムを組んでいます。在校生の7割から8割は普通科出身です。

Q 就職支援はしてもらえますか？

A キャリア支援アドバイザーと各科の担任が連携し、学生個人の適性や希望を考慮して、きめ細かな支援を行っています。
当校修生の技能・技術は企業からも高く評価されており、毎年多くの求人を受けています。

Q 専門課程から応用課程にはどのようにして入校できるのですか？

A 入校試験への合格で、入校することができます。
入校試験には、推薦入試(書類審査と面接)と一般入試(専門的実技能力を問う筆記試験と面接)があります。

Q 一人暮らしを考えているのですが…。

A 当校の学生はおおよそ家賃3万円程度の物件に入居しているようです。
アパートの紹介は直接は行っていませんが、協力いただいている業者様のご紹介はできますので、学務課にお問い合わせください。

Q バイク・車での通学はできますか？

A 駐車場を完備しています。
バイク・車および自転車での通学は可能です。

Q アルバイトはできますか？

A 特に規制はありません。
学業にさしつかえない範囲のアルバイトであれば問題ありません。

Q 学生寮には入れますか？

A 入寮希望者が多数の場合は、通学距離、保護者の所得等により選考いたします。
入寮の際は、階数や部屋を選ぶことはできません。テレビを設置される場合は別途NHKとの契約が必要です。

定員	男子寮63室／女子寮30室 身障者用(男女各1室) ※全室個室10.25㎡(6畳程度)
標準装備	ベッド・机・いす・収納棚・クローゼット・エアコン ※インターネット接続可能(別途契約が必要です)
共同設備	お風呂・トイレ・洗面・洗濯室・食堂

Q 奨学金制度はありますか？

A 厚生労働省の技能者育成融資資金制度、国の教育ローン(株)日本政策金融公庫が利用できます。
教育訓練の受講を容易にすることを目的に、一定条件を満たした学生に奨学金制度を用意しております。
※日本学生支援機構の奨学金制度は利用できません。

Q 授業料の免除等の制度はありますか？

A 授業料等減免制度があります。
国籍・成績・家計の経済状況等の要件を満たす必要があります。詳しくは学務課までお問い合わせください。

Q 就職時の学歴区分はどうなりますか？

A 専門課程修了で短期大学卒、応用課程修了で4年制大学卒として扱われています。
内閣府の「人事院規則」における学歴区分では、公務員試験や待遇において、専門課程修了で短期大学卒、応用課程修了で4年制大学卒として扱われています。また民間企業の求人においても、基本的には同等の扱いとなっています。

お問合せはこちら
九州職業能力開発大学校 学務課

他にも、ご質問は随時受け付けておりますのでお問合せください。
お電話で **TEL:093-963-8353** 平日/9:00~17:00
FAXで **FAX:093-963-8387** 24時間対応



九州職業能力開発大学校 [川内キャンパス] 川内職業能力開発短期大学校

専門課程

生産機械技術科 定員20名 | 電気エネルギー制御科 定員20名 | 電子情報技術科 定員25名

九州職業能力開発大学校の専門課程(1年次・2年次)と同じく、高い技能と技術を兼ね備えた実践技術者になるための授業を鹿児島でも受けられます。
専門課程修了後には就職か、九州職業能力開発大学校の応用課程(3年次・4年次)への入校を選択することができます。

〒895-0211 鹿児島県薩摩川内市高城町2526
TEL 0996-22-1558 FAX 0996-22-6612
ホームページ <https://www3.jeed.go.jp/kagoshima/college/>



ACCESS

JR九州 川内駅 → (約25分) [市内循環くるくるバス] ポリテクカレッジ前
(約15分) タクシー
肥薩おれんじ鉄道 上川内駅 → (約25分) 徒歩



エリアマップ

リバーウォーク北九州

グルメやファッションはもちろん、劇場や美術館も併設。シネマやアートにも触れることができる。



©RIVERWALK KITAKYUSU 2023

小倉城

慶長7年(1602)細川忠興公が築城した名城。全国でも珍しい「唐造り」の天守閣からは、小倉の街が360度見渡せる。



小倉駅

グルメやファッション、JR九州ステーションホテルも併設。モノレール発着駅も備えている。



チャチャタウン小倉

小倉の街が見渡せる大型観覧車が目印の、商業施設。



北九州市は歴史的建造物から近代的な施設まで見どころがたくさん! 車で小倉や門司を巡っても楽しい!

勝山公園周辺は映画・ドラマのロケ地もありますよ!

小倉まではモノレールも便利!



キャンパス見学会

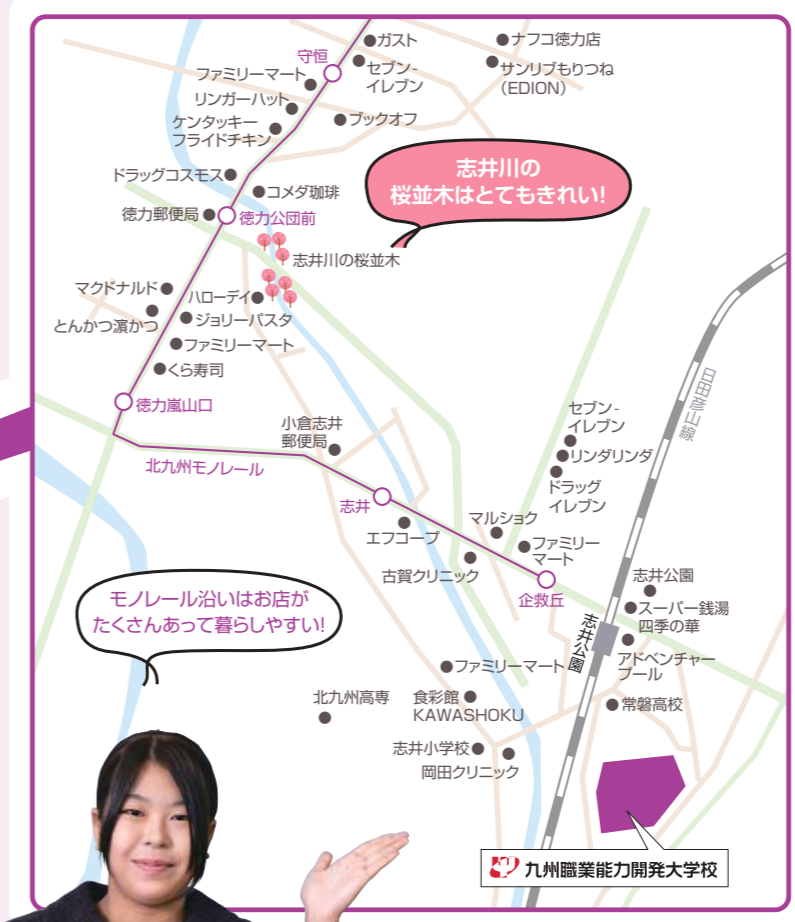
学びの概要や入試情報の説明、体験授業・校内見学を実施します。九州ポリテクカレッジを見て&聞いて&体験しよう!

令和8年 7.18 [土]	令和8年 8.22 [土]	令和8年 10.31 [土]	令和9年 3.20 [土]
-------------------------	-------------------------	--------------------------	-------------------------

保護者同伴OK! **友人との参加OK!** **私服OK!**

参加方法については [こちら](#)

※参加者数が定員に達した場合は、受付を終了させていただきます。



近所のおすすめ

マルシヨク 企救丘店

モノレールの企救丘駅からも近いスーパー。食材やお弁当から、日用品や雑貨まで、学生生活をサポートしてくれます。

リングダリダ

ハード系からやわらか系まで、たくさんのパンが並びます。オススメは耳までもっちり柔らかな生食パン!

志井公園

広場や遊具、プール(夏季限定)がある、広々とした公園。夏に開催される「まつりみなみ」の花火は必見!